

指定管理者の管理運営に関する評価シート

(評価対象期間: 令和4年6月～令和9年3月)

施設名	池田市立市民活動交流センター
市担当課	市民活動部ダイバーシティ共創課(754-6232)

(1) 指定管理者

団体名	NPO法人トアエル
指定期間	令和4年6月～令和9年3月
管理体制	令和8年4月現在 スタッフ12名(常勤2名 事務・夜間・清掃10名) 運営委員(11名)

(2) 事業内容

管理業務	池田市立市民活動交流センター 開館時間: 午前9時～午後9時30分 休館日: 月曜日及び年末年始(12/29～1/3) ・貸室、メールボックス、ロッカーの使用に係る申込・変更・取消など受付および許可、使用料の収受、問合せ対応 ・貸室のオンライン予約の利用者登録受付・許可、予約承認、変更・取消対応、支払督促、関係する問合せへの対応 ・備品の貸出および使用方法の説明 ・印刷・コピー対応および用紙・インクの補充ならびに釣銭管理 ・貸室・フリースペース・キッズスペース・トイレ・備品など設備の清掃・消毒 ・植栽の維持管理、駐輪場の整理 ・利用集計および利用者満足度、意見聴取
運営業務	・相談業務(団体の設立、法人化や運営など) ・情報収集・発信(来館者への声かけ、各種会合への参加、各種SNSやメルマガ購読等による情報収集、センターHPの開設・運用・修正、情報誌しみかつの発行、センターフェイスブックの開設・運用、メールマガジン) ・人材育成に関する講座(助成金申請、広報、活動事例発表など) ・調査研究(駅前施設利用団体アンケート調査、こども食堂調査・交流会の開催等)
自主事業	・コーディネーション事業(連携促進に資する情報提供や仲介、Get together(全館イベント)、つながる会等の交流事業) ・しみかつサポーター事業 ・貸室未利用時の自習室運用

その他	・北摂各市のセンター運営団体と連携実施のNPO支援、中間支援機能強化研修 ・池田市教育委員会の夏休みこどもボランティア協力 ・池田市の生理用品の配布協力 ・池田市のクールシェアスポットへの協力 ・社協(赤十字)の能登半島地震の募金箱設置に協力 ・大阪大学留学生ホストファミリープログラムへの協力(池田市区連絡窓口) ・トアエル所有備品貸出及びバナー・ポスター印刷支援 ・団体情報管理のための公益活動団体届出制度の運用 ・団体情報発信・資金調達・交流に資するイベント開催 ・団体連携支援、次世代の地域貢献人材育成事業(里山あそび隊) ・池田市各種審議会や社協理事会など外部委員会への参画 ・センター通用口付近の近隣住民ごみステーションの管理
-----	--

担当課の評価 (A、B、C)	B	大きな支障はなく適切に実施されており、令和7年9月から運用を開始した公共施設予約システムにおいても、改善提案を行うなど、市と連携しながら円滑な施設管理・運営に努めている。また、各種媒体を活用した情報発信や相談・交流事業を通じて、市民活動団体等の連携・協働を支援し、公益活動の活性化に取り組んでいる。一方で、情報発信のさらなる充実や交流事業への参加促進に向けた工夫が期待される。講座やイベント等の継続的な実施は、市民活動団体の基盤整備や活動の定着を図る上で重要な役割を果たしているが、これに加えて利用者ニーズや社会情勢の変化を踏まえた新たな企画等も取り入れながら、より効果的な事業展開に努められたい。
-------------------	---	--

(3) 利用状況

施設	<2025年度> 開館日数:309日 利用者数:39,999人(貸室26,714人 フリースペース13,285人) 【別添 事業報告書 参照】
事業	【別添 事業報告書 参照】

担当課の評価 (A、B、C)	A	利用者数は年々増加しており、利用満足度も高い水準を維持している。公益活動をはじめとする多様な活動の場を提供し、幅広い世代の市民が交流する拠点として機能している。
-------------------	---	---

(4) 市民満足度

苦情等の状況	フリースペースとキッズスペースが同じフロアにあるため、小学生などが大きな声を出すと自習に来ている学生から苦情が出る事がある。あくまでも交流スペースであることも理解いただき、ご利用いただいてはいるが、大声を上げたり暴れたりされる場合は都度注意を行っている。フリースペースの混雑やキッズスペースの大きな子どもが利用されているケースなどで来館されても、すぐ帰られる利用者もあり、自習室の設置、年齢制限など市と協議し対策を行った。その他に特筆すべき苦情は見られなかった。
利用者アンケートの実施状況	・貸室、フリースペース、キッズスペース利用後に提出いただく使用報告書内に意見記入欄を設けており、随時意見を収集している。 ・しみかつサポーターの仕組みを導入するにあたり実施した交流イベントにおいて意見募集を行い、使用報告書では見られなかった意見をいただいた。 ・各種センター事業において振り返りアンケートを記入いただいております。 ・全館イベントにおいては来場者にシール式のアンケートを実施し効果測定、広報手段の検討などに活用している。
利用者アンケートの結果	・使用報告書の意見欄やセンター事業毎の参加者の振り返りアンケート等は、良好な意見が大半を占めている。 ・2025年度使用報告書による満足度(大変満足・満足・不満・大変不満・無回答) - 貸室: 大変満足2,215件(81.1%)、満足492件(18%)、大変不満6件(0.2%) 2Fスペース: 大変満足4,291件(66.1%)、満足1,688件(26%)、不満85件(1.3%)、大変不満34件(0.5%) ※2Fで不満件数が比較的多いのは、キッズスペースとフリースペースで遊ぶ子どもと自習利用されている方との共存が難しいことによる ・フリーWi-Fiの導入要望が多く、その意見を市に届け、実際に導入いただいた。 ＜貸室・フリースペース・キッズスペース利用者の声抜粋＞ ・清掃や室温管理が行き届いており、気持ちよく活動できた。 ・備品の用意だけでなく受付の対応も親切で、初めてでも安心できた。 ・フリースペースの椅子と机を増やしてほしい。 ・子どもや学生の話し声・マナーを改善してほしい。 ・駅近くに自習できる場所がないため、自習室があって助かる。 ・ボルダリングもあり、子どもと一緒に楽しく利用できた。 ＜センター事業参加者の声抜粋＞ ・池田で活動している人とつながることができ、参加してみたい活動が見つかった。(つながる会) ・さまざまな広報媒体の具体的な使い方や他団体の活用事例を知ることができた。(広報講座) ・申請の流れを知ること、活動の目的や理念をふりかえる機会となった。(助成金講座) ・ゲストの活動への想いや当事者の生の声を聞けて共感し、自分にできることをやってみようという勇気をもらった。(市民企画講座) ・顔の見えるネットワークや、運営者同士の知識やノウハウの共有ができた。(こども食堂交流会) ・イベントをきっかけに来館、多くの活動を知ることができた。(全館イベント) 【別添 事業報告書 参照】

担当課の評価 (A、B、C)	A	利用者アンケートでは、貸室・フリースペースともに高い満足度を維持しており、施設の管理運営や職員対応についても好意的な意見が多く寄せられている。利用者からの要望や苦情については、市と連携しながら自習室の設置や利用ルールの見直しなどの改善を実施しており、利用者ニーズの把握とサービス向上に努めている。また、NPO法人や公益活動団体等に対する団体設立や助成金申請などの多岐にわたる相談を継続的に実施し、年間100件を超える相談数に対応していることから、市民活動団体の身近な相談窓口として適切に機能していると評価できる。
-------------------	---	--

(5)収支状況

初年度、翌年度は消費税が免除され大きくプラスとなった。2025年度は、プラスを市民に還元すべく事業を増やしたことなどによりマイナスとなったが5年収支でマイナスにならないよう人件費や物価の高騰の影響を受ける中、効率化を図っている。 【別紙 決算書 参照】		
--	--	--

担当課の評価 (A、B、C)	A	指定管理料の範囲内での運営に努め、令和7年度単年度では収支不足となったものの、指定管理期間全体を通じた収支の均衡を見据えながら適切な施設運営が行われている。また、利用者サービスの維持・向上に必要な人員体制を確保していることは評価できる。今後も適切な経費管理と業務の効率化を図り、安定的かつ持続可能な施設運営に努められたい。
-------------------	---	---

(6) その他

情報公開	市民活動交流センター・トアエル情報は、各ホームページに掲載。 定款、事業報告、収支の状況は内閣府NPOポータルサイト内にて掲載。	
個人情報保護	管理業務の実施に伴い、知りえた個人情報の保護及び秘密漏洩防止については、協定書の「個人情報取扱特記事項」に基づき、遵守している。 個人情報保護方針を定め窓口に掲示している。 外部の方1名に個人情報が含まれたPDFデータの誤送信があり速やかに削除依頼を行い了承を得た。市と対応を協議の上、PDF記載の各人に対して連絡・謝罪し許しを得て、今後の対策を含む顛末書を市に提出した。	
防災対策等 緊急時への対応	常勤スタッフが防火管理者となり、事務所に消防計画書、避難経路図、緊急連絡マニュアルを設置。 月1回の消火器具等の自主点検及び年2回の防災訓練を実施している。	
その他	子育て中の方を積極的に雇用し地域に眠る人材の活用に参加している。 シニアの方、障害者手帳をお持ちの方を雇用している。 多数のスタッフは池田市民で地域の雇用増進に参加している。	
担当課の評価 (A、B、C)	B	情報公開については、各種媒体を活用し、適切な情報発信に努めている。個人情報保護については、令和7年度に個人情報の漏洩事案が発生したことは重く受け止める必要があるが、発生後は経緯や原因の把握に努めるとともに、再発防止策を講じるなど適切な対応が図られている。また、防災訓練等を定期的の実施し、緊急時への対応体制が整えられている。さらに、多様な人材の雇用や地域住民の積極的な採用を通じて、地域雇用の促進に参加している点は評価できる。

総合評価

指定管理者の自己評価
(優・良・可・不可)

優

コメント

池田市の市民活動促進における中間支援業務はビル1棟の管理とセットになっており、他市に比して施設管理業務の比重が非常に大きくなっている。そのため施設の安定運営を行いながら、寄せられた相談などを踏まえて市民ニーズが高いと思われる事業を優先的にを行うことを基本とし効率的・効果的な管理運営に努めた。

今回、新たに設置されたセンターの管理運営にあたっては、公益活動促進センター、コミュニティセンター等を管理運営してきた経験とノウハウ、コロナ禍における管理対策の経験を活かし、予めマニュアルを整備するなど開館後、速やかに安定運営が出来るよう努めた。

貸室は元より安心して乳幼児が利用できるようキッズスペースおよび備えつけられたマット・ブロック等、日々の清掃・消毒・メンテナンスを行った。フリースペースでの談話者と自習者との競合に対して、利用のない場合の貸室を自習室として開放・管理するなど市民ニーズに配慮した運営を行った。

当初、予定になかったオンライン予約システムの導入にあたり、システムの検討・構築段階から協力し、テスト環境での試行と不明点の洗い出しや改善提案を繰り返し行うとともに、利用者に混乱がないよう事前周知や予約方法の案内、問い合わせへの対応、内部マニュアルの作成・修正や現金収受の対応、これらに関して運用しながら利用における多様な事案に対してオペレーションの修正を行うなど、システムのスムーズな導入・運用に努めた。

一方で、シフト調整や、11室あるトイレを含め清掃委託を行わず内部で行うなど経費の節減に努めた。事業に関しては相談対応を基幹業務として、傾聴・丁寧な対応を行い、そのニーズを踏まえて各種事業を企画実施した。各種事業ではコーディネーションに重きを置き、交流事業はもとより講座などでも参加いただく方々が知り合える設計とし参加者ニーズの充足にもつながった。

一步踏み出した活動者が経緯や思いを語る市民企画講座では、参加者の市民活動への理解促進、団体間における新たな連携に寄与すると共に市民団体の活動や理念を言語化する機会を提供する場としても機能した。

市民団体が出展・出演する全館イベントでは、団体に実行委員・ボランティア参加を行ってもらったほか事前の交流会や説明会を通じ、実際に本イベント内外でコラボがみられるなど連携促進につながった。また近隣商店街イベントと本イベントを同日開催し、商店街で市民団体がパレードを行うなど、交流センターの枠を超えて団体、センターの広報を行った。

相談ニーズを踏まえて近接の自治会によるミニ交流会を開催し、継続開催の要望を受けた。こども食堂調査の一環で行ったこども食堂交流会では、情報交換・交流の機会を望む声が多数あり、LINEグループの立ち上げに寄与し池田市にはない、こども食堂のネットワーク化につながった。

北摂の各市センター運営団体と連携したプロジェクトに参画し、団体支援を行いながら中間支援の機能の強化研修に取り組んだ。

担当課の総合評価
(優・良・可・不可)



コメント

施設管理業務と中間支援業務を一体的に実施する中、施設の安定的な運営を確保しながら、利用者や市民活動団体からの相談内容及びニーズを踏まえた事業展開に取り組んだことは評価できる。また、貸室運営やキッズスペースの維持管理に加え、自習利用への対応など、市と連携しながら、利用者ニーズに応じた柔軟な施設運営を行うとともに、公共施設予約システムの導入においては、構築段階から運用開始後まで積極的に協力し、利用者への周知や問い合わせ対応、運用改善に取り組むなど、円滑な導入及び定着に大きく寄与した。

事業面においては、相談業務を基軸としながら、市民活動団体や市民同士の交流・連携を促進する各種事業を実施し、市民活動への参加機会の創出及び活動の活性化に寄与した。また、交流事業を通じて、新たなネットワーク形成や団体間連携につながる成果が見られたことは評価できる。さらに、他地域の中間支援組織との連携や研修への参画を通じて、中間支援機能の向上にも積極的に取り組んでいる。

一方で、情報発信については、ホームページやSNS等を活用した広報が実施されているものの、事業参加者数や相談件数の状況を踏まえると、その効果は十分とはいえない。施設や事業の認知度向上及び利用促進につながるよう、ターゲットを意識した情報発信手法の検討やより効果的な広報活動に取り組むことが求められる。

また、交流事業については、継続的に実施されている一方で、内容が固定化する傾向も見受けられる。参加者数の増加や新たな利用者層の獲得に向け、市民ニーズを的確に把握し、企画内容の見直しや新たな事業提案を行うなど、より能動的な取組が期待される。あわせて相談業務については利用実績が限定的であることから、潜在的なニーズの掘り起こしや相談窓口の周知強化に努める必要がある。加えて、相談対応が特定の職員に依存する状況が見受けられることから、安定的かつ継続的な相談支援体制を確保するため、職員間でのノウハウ共有や人材育成、研修等を通じた相談対応能力の向上に取り組むことが求められる。

さらに、個人情報の漏洩事案が発生し、顛末書の提出に至ったことは重く受け止める必要がある。一方で、発生後は速やかに経緯や原因の把握に努めるとともに、再発防止策を講じていることは評価できる。今後は再発防止策を確実に実施し、職員への周知徹底及び個人情報保護体制の強化を図ることで、利用者からの信頼回復に努められたい。

今後も引き続き、市民ニーズの把握に努めるとともに、市民活動団体間のさらなる連携促進及び活動の活性化につながる取組を展開し、市民活動促進拠点としての機能向上に期待する。

評価委員会の評価
(優・良・可・不可)



コメント

・施設の維持管理業務については適切に実施されており、概ね基準を満たしている。一方で、中間支援としての相談機能や団体間の連携促進、情報発信などの取組については改善の余地がある。
・市民満足度に係る利用者アンケート調査について、施設管理に関する調査に偏っており、中間支援機能に対する市民活動団体の評価や満足度の把握・分析が十分ではないこと、また、アンケート結果が講座内容等の改善に十分活用されていないように感じられる。

・決算書について、会計処理や費目の記載方法、費用内訳の明確化などに課題があることから、担当課による確認体制の充実と、より適切で分かりやすい資料作成が求められる。

・個人情報漏えい事案について、再発防止策としてメーリングリストの作成等を実施しているものの、根本的な策として、職員の個人情報保護に対する意識改革や適切な情報管理体制の構築が必要である。

・ホームページやSNS等を活用した情報発信について、掲載内容の更新や情報の見せ方を工夫するとともに、市民活動団体の活動紹介や利用者の声などを取り入れ、「伝える」だけでなく「伝える」情報発信に取り組むことで、さらなる利用促進につなげることが期待される。

2022 年度 池田市立市民活動交流センター 事業報告書

期間：2022 年 6 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

場所：大阪府池田市新町 1-8 ほか

総括

特定非営利活動法人池田市公益活動促進協議会は 2022 年 6 月にオープンした「池田市立市民活動交流センター」の指定管理受託者となり、初年度にあたる 2022 年は当センターを安定的に管理運営することを最優先に早期のマニュアル作成や仕組み作り、スタッフ間の情報共有などを行いながら業務を実施し概ね事業計画の通りに遂行できた。

貸室および交流スペース、貸ロッカー・メールボックスの管理運営方法や安全対策について毎月の理事会やスタッフ会議で改善するなどサービス向上に努めながら開設したばかりの施設をより多くの市民に活用して頂けるよう、当会の発行する情報誌や SNS を活用するなどし広報に努めた。また、利用者交流会およびガイドツアーを実施し市民とともに施設を育てていく雰囲気づくりに寄与した。

また公益活動促進業務としては、北摂 6 市の市民活動支援センター協働プロジェクトに参画し、他センターと連携しながら市内外の市民活動団体や市民に対しての各種応談を行った。また、アウトリーチによる地縁団体や市民活動団体へのヒアリングを通してネットワーク構築および団体情報収集に努めた。

市民活動団体向けに人材育成を目的とした講座を他市センターの協力を得て計画した回数を超えて開催し、公益活動における知識や技術を学ぶ機会を設けた。

1. 施設管理業務

① 管理運営

開館時間：9:00～21:30

休館日：月曜日、12月29日から翌年1月3日まで

以下の業務を予め作成した市民活動交流センターマニュアルに基づき適切に実施した。

- ・ 貸室、メールボックス、ロッカー等の使用に係る申込受付および問合せ対応
- ・ 印刷対応、備品の貸出および使用方法の説明
- ・ 施設・設備の清掃・消毒および植栽・駐輪場の維持管理

年間利用者数

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸室	2,005	1,446	1,480	2,394	1,707	2,236	2,011	1,432	1,817	1,741	18,269
フリー スペース	706	604	743	887	961	901	626	691	661	523	7,303
計	2,711	2,050	2,223	3,281	2,668	3,137	2,637	2,123	2,478	2,264	25,572

ロッカー、メールボックス利用状況

ロッカー(大)	ロッカー(長)	ロッカー(中)	ロッカー(小)	メールボックス
4個/4個	1個/6個	14個/16個	7個/24個	5個/24個

② 人員配置および運営体制

相談ニーズが集中する平日および土曜9時から17時半においては、常勤職員2名、非常勤職員1～5名を配置した。

夜間時間帯および日曜祝日の昼間は、非常勤職員1名以上を配置した。

③ 管理運営に関する会議

効率的・効果的な管理運営のため、月1回の管理運営会議(理事会)において事業の進捗管理および施設管理方針の検討を行った。

実施日：6/28 8/9 9/22 10/25 12/6 1/31 3/2 3/28

加えて月例および随時のスタッフミーティングによりタスクを管理するとともに、課題の洗い出し、解決方法を協議決定し、直ちに改善した。

実施日：6/24 8/30 10/4 11/29 1/12 1/31 3/3

市担当課と毎月連絡会議を実施しており、情報の共有や改善策の検討を行った。

実施日：7/6 8/4 10/6 11/4 2/15

④ 防災訓練

防火管理者の指導のもとスタッフ 7 名で避難経路、器具や消火器の場所を確認し、館内放送設備使用方法を学び非常時の対応を確認した。

実施日：2022 年 10 月 28 日(金)10:00～10:40

※2022 年度は 6 月開館のため年 1 回

2. 指定管理者として実施する事業

① 公益活動に関する応談

内 容：NPO 法人や市民公益活動団体、地縁団体等の設立・運営・活動に関する助言、助成金申請相談など各種応談を行った。

場 所：市民活動交流センターほか

日 時：随時

対象者：NPO 法人、市民活動団体、地縁団体ほか

成 果：交流センターの認知度の向上に伴いイベントの開催方法や NPO 法人の設立、ボランティア参加希望など多岐にわたる相談を受け付け、課題を整理し必要な支援を行った。日曜祝日、休館日においても必要に応じて対応した。

課 題：地域活動向けの講座などを企画し潜在的なニーズを探り相談につなげて行きたい。

6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1 件	9 件	3 件	5 件	8 件	13 件	11 件	16 件	14 件	18 件	98 件

② 情報収集

内 容：地縁団体や市民活動団体に対して来館時やアウトリーチによる情報収集の実施。

日 時：随時

対象者：地縁団体、市民活動団体

成 果：来館対応だけでなく団体の活動場所へアウトリーチを行い新しい市民活動団体の活動情報やニーズを得られた。

課 題：地縁団体の実施している地域活動の情報は得られ関係性は深まったが積極的な相談を受けるまでには至っていない。

新規届出団体及び新規情報収集团体

団体名	活動内容
ここんちサロン	子育てについての様々な話ができる場作り

(社福)池田さつき会	サービス付き高齢者向け住宅・デイサービス・グループホーム・ショートステイ等の運営
ひとやすみ	多世代交流が行えるカフェの運営
スポイの会	日本で働く在日外国人(主にインドネシア人)の生活面と仕事面の不安を軽減する等サポート、交流の場を提供
任意団体バレット	学校になじめない、発達に課題があるなどの困りごとを抱えている子、どんな子どもでも安心して過ごせる居場所づくり
ゆらいく大阪	精神疾患をお持ちの当事者の会を主催
五月ヶ丘4丁目子ども会	五月丘4丁目の子ども会を運営
Rainbow Community	生きづらさを抱えられている方などのコミュニティ作りとヨガを使った場作り
Link With IKEDA	個人事業主のメンバーが集まった創業支援、地域活性化、販売体験イベントの開催
やわらケアサポート	介護保険や介護サービスに関する相談受付
便利屋アルビス	有償ボランティアによる修繕など同じ団地に暮らすもの同士の助け合い活動
新町会	新町の自治会活動
綾羽2丁目町会	綾羽2丁目の自治会活動
槻木町会	槻木町の自治会活動

③ 情報発信

内 容：メールマガジン登録者に対し、市民団体等のイベント情報、助成金情報等を発信。当会フェイスブックページやInstagram、ライン等においてイベント開催情報、団体支援情報等を発信した。

日 時：随時(メールマガジンは概ね月1回)

対象者：一般市民、市民活動団体、地縁団体、行政職員ほか

成 果：数ある助成金情報の中から当会が池田市の市民活動団体に有益であると判断した情報を提供しているので、団体も1から情報を検索するより効率的に情報を得ることが出来た。

課 題：市の登録団体申請時に登録いただくことが多かったため制度が廃止された今、メールマガジン登録者数をより増やすための仕組み作りが必要である。

④ 市民活動交流センター利用者交流会(別紙参照)

利用者交流会&館内ガイドツアー

内 容：市民との関係性を深め相談を受けやすい環境づくり、利用者と協力したより良い交流センターづくりをめざし交流センターの利用者、届出団体、地縁団体などに呼びかけ利用者交流会と館内ガイドツアーを開催した。

(利用者の交流、ブロック作品コンテスト授賞式、館内の案内及び貸室利用方法の解説

など)

場 所：市民活動交流センター

日 時：2023 年 3 月 25 日(土)13:30～16:30

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

参加者：交流会 16 名 ガイドツアー 9 名

成 果：交流会は和やかな雰囲気の中、参加者から多くの声を聴くことができ、最後は参加者同士の自発的な交流も行え、事前に設置していた団体紹介などで利用団体を知っていただくことができ、団体にボランティアに関わりたいという相談にもつながった。ブロック作品コンテストにも多数の応募があり、交流会内で最優秀賞と特別賞の 2 作品の授賞式を行ったことで、キッズスペース利用者にも施設や団体について知っていただくことが出来た。

ガイドツアーではグリーンバックを活用しネット中継のデモンストレーションも実施した。アンケートでは、色々な設備や貸室があることが分かり、今後の活動に活かしたいという声が多数寄せられた。

課 題：開設当初の繁忙で企画が遅れ実施のタイミングが遅くなったが利用者意見を踏まえた意見交換が出来るなどメリットもあった。

当初は 20 名の参加を想定していたが、ガイドツアーは約半数しか集まらなかった為、日々の利用者への声かけや SNS 発信など告知方法の改善が必要。交流会は進行が前後してしまい、予定通りに進めることができなかったが、スタッフが機転を利かせて、参加者同士の交流に時間を割けた為、結果的には良かった。

ガイドツアーは 10 分押してしまったので、タイムスケジュールの管理を見直す必要がある。

⑤ 人材育成(別紙参照)

内 容：北摂 6 市のプロジェクトと連携し交流センターをサテライト会場として、活動に必要な知識や技術を学ぶ講座を開催し、終了後も参加者の相談に対応した。

場 所：市民活動交流センターほか

対象者：一般市民、市民活動団体、地縁団体ほか

成 果：北摂の中間支援とのネットワークを活かすことで当初計画の回数より多くの講座を実施することが出来た。

団体の情報発信時に気を付けておくべきことや効果的な発信の手段、非営利法人の種類や設立方法、設立後の会計処理について必要としている団体に受講いただけた。法人設立を検討し相談を受けている団体に NPO 法人以外の選択肢があることを理解いただいた。

講座終了後に参加者同士で活動で困っていることなど情報交換を行うとともに相談を受けることが出来た。また団体間の交流にもつながった。

課 題：他会場で実施している講座をオンラインで上映を行った。概ね好評であったが、参加者からはリアルでの受講を望む声もあった。

実施日時	テーマ	講師	参加者
11/15(火) 14:00 ～15:30	気を付けていますか？ 著作権・肖像権～ついうっかり を防ぐために～	本多 雄一 NPO 法人 PriReg	5 名
12/8(木) 14:00 ～16:00	活動の魅力を伝えよう！ 中級者向け動画作成講座	長谷川 かおり PhotoVoice 代表	5 名
2/8(水) 10:00 ～12:00	NPO 法人会計入門講座	小山 真由美 認定 NPO 法人 Gift 代表	4 名
2/21(火) 19:00 ～20:30	公益活動向けの法人化講座	片岡 誠 NPO 法人市民ネットすいた専務理 事	5 名

⑥ 自主事業(ミニサロン「にじいろ～みんなでお話ししましょう～」)

内 容：地域人材の発掘・エンパワメント、市民活動の活性化および居場所づくりを通じた子育て中の母親の社会的孤立解消・家族支援など社会課題の解決を目的としたサロンの開催。

場 所：市民活動交流センター

日 時：月 1 回第 3 木曜日 10:00～11:30

6/16(7 名)、7/14(2 名)、8/25(7 名)、9/15(6 名)、10/20(9 名)、11/17(9 名)
12/15(7 名)、1/19(9 名)、2/16(9 名)、3/2(11 名)

講 師：健康増進課 にじいろ相談窓口担当者

対象者：一般市民

成 果：講師とともに参加者の社会的孤立解消および家族支援を継続的に丁寧に行うことができ、子育て支援センターの空白地帯において地域の子育て中の保護者達の新たな居場所作りに貢献し、交流センターの認知向上にも寄与した。また運営補助として見守り保育に「保育ボランティア『だっこ』」と協働したことで、市民活動の機会創出、多世代交流の場となった。

課 題：参加者が固定化しがちで、かつ上記社会課題を抱える当事者であったことから、この事業を通じて参加者が自発的にグループを設立し活動を行うなど、当初目標としていた幅広い地域人材の発掘・育成につなげることが困難だった。

3. スタッフ研修

① 指定管理者研修

内 容：スタッフの専門性や能力を高めるための研修や接遇研修の実施。市主催の指定管理者研修に参加。

場 所：市民活動交流センター

日 時：2022 年 10 月 31 日(月)14:00～16:00

講 師：東 朋子 NPO 法人コミュニティ事業支援ネット理事長

対象者：指定管理従事者及び中間支援組織、行政職員

参加者：当法人より 7 名

成 果：市民活動交流センターの指定管理者が取り組むべき施設管理業務および中間支援業務、職員としての基本的姿勢、運営団体としての組織の基盤強化について、講師より西宮市市民活動交流センターの具体的な事例を交えながら学ぶことができた。

課 題：内容や講師選定にあたり、市と指定管理者との協働という観点からも、市が指定管理者に学んでもらいたいこと、指定管理者が学びたいことを双方ですりあわせができるとなよかった。

② 北摂 6 市の支援センター指定管理者協働プロジェクトにおける研修

内 容：他市支援センターと連携した外部研修の実施。北摂 6 市の支援センター指定管理者の協働プロジェクトによる 12 の市民活動団体への伴走支援を通じたスタッフ研修で専門性を高めた。

場 所：オンライン、市民活動交流センター、大阪府下、関西支援センターほか

実施日：2022 年 5 月～2023 年 3 月

対象者：理事、センター勤務スタッフ、市民活動団体ほか

成 果：北摂エリアの中間支援組織が連携し、社会的孤立・孤独の解消に取り組む NPO への支援を行った。池田市以外にも北摂エリアで活動する市民活動団体に対しアウトリーチによる支援を行い、オンラインにて NPO の入門講座や中間支援の役割、寄付募集や会計の実務についての職員研修を受け、中間支援業務の専門性を高めた。市民活動団体への伴走支援では、当センターでは池田市で子ども食堂を展開する団体をサポートし、近隣エリアで活動する団体とのマッチングを行い、団体の活動促進に寄与した。

課 題：中間支援組織として専門性を高めるための研修や課題の量が非常に多かった。

4. 調査研究

内 容：利用者意見の収集・分析のほかオンラインによるコミュニケーション増進に関する研究、社会的処方に関する研究など、随時実施し、必要に応じて政策提言を行う。

場 所：主として池田市内

日 時：随時(オンラインセミナーに参加するなど情報収集に努めた)

対象者：市民活動団体、地縁団体、行政職員、一般市民

成 果：当会が今後取り組もうと考えている社会的処方に関するセミナーに参加し今後の検討材料を得ることが出来た。

課 題：情報収集にとどまっております事業として具体化するには次のアクションに移していく必要がある。

2023 年度 池田市立市民活動交流センター 事業報告書

期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

場所：大阪府池田市新町 1-8 ほか

総括

池田市立市民活動交流センター(以下交流センター)がオープンしてから 1 年経過した事を受けて改めて受付ほか施設管理に関するオペレーションの確認と見直しを図った。新型コロナウイルスが第 5 類感染症に移行し交流センター利用についても徐々に制約が緩和され、これまで利用のなかった団体の利用も増えてきた。貸室についてもレンタル備品が充実していることや清潔であることなど利用者に満足いただけている。フリースペース・キッズスペースについて静かに自習したい方からキッズスペースの騒音について指摘いただいたり、子どもを遊ばせることで勉強の邪魔になるのではないかと気遣う声をいただいたりすることもあるため交流を目的としたスペースであることをご理解いただける様にフリースペース内に張り紙を掲示した。また、利用者がイベントなどを告知し易くし利用促進にもつなげるため貸室の予約時期を 2 ヶ月前から 3 ヶ月前からの予約が可能となる様にコミュニティ推進課と協議し次年度より変更することが決定した。

公益活動促進業務としては、交流センターの HP の開設に向けたサーバー契約やコミュニティ推進課とも協議しながらサイト構築作業を行った。HP に先駆け交流センター Facebook の開設と交流センター情報誌「しみかつ」を創刊し交流センターの施設案内やイベント情報を発信した。当法人のメールマガジンで助成金や各種団体のイベント情報などの発信を行いつつ、交流センターメールマガジンの開設準備を行った。

初めての試みとして全館を使用した交流イベント「市民活動交流センター Get together2024」を開催し交流センターの更なる周知を図るとともに市民と市民活動、地域活動団体との発表・交流の場づくりに寄与した。

団体運営や資金調達、NPO 法人設立など日常の相談業務に加え、池田で活動している方やこれから活動を始めたい方、運営に悩みのある団体、他の団体と繋がりたい方などの情報交換会「つながる会」や、共通テーマで活動している団体に呼びかけた「つながる交流会」を開催し新しいつながりづくりに寄与した。団体の活動が活性化するために必要な知識や技術を学ぶ広報や居場所づくり、助成金申請に関する講座を開催した。

昨年度に引き続き北摂 7 市の中間支援組織が協働で取り組む「北摂ともにプロジェクト」に参画し、連携しながら市内外の市民活動団体や市民に対しての伴走支援などを行うとともに、このプロジェクトを通じて中間支援組織としての能力向上に取り組んだ。

1. 施設管理業務

(1) 管理運営

開館時間：9:00～21:30

休館日：月曜日、12月29日から翌年1月3日まで

以下の業務を予め作成した市民活動交流センターマニュアルに基づき適切に実施した。

- ・貸室、メールボックス、ロッカー等の使用に係る申込受付および問合せ対応
- ・印刷対応、備品の貸出および使用方法の説明
- ・施設・設備の清掃・消毒および植栽・駐輪場の維持管理

<年間利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸室	1,986	1,674	1,670	1,863	1,403	2,526	1,938	1,946	2,516	1,843	2,248	2,059	23,672
2階 スペース	445	677	675	767	795	884	968	932	732	860	949	921	9,605
計	2,431	2,351	2,345	2,630	2,198	3,410	2,906	2,878	3,248	2,703	3,197	2,980	33,277

※2階スペースはフリースペースとキッズスペースの合計

※2/23全館使用イベント約300名含まず

<ロッカー、メールボックス利用状況>

ロッカー(大)	ロッカー(長)	ロッカー(中)	ロッカー(小)	メールボックス
4個/4個	2個/6個	16個/16個	7個/24個	8個/24個

(2) 人員配置および運営体制

相談ニーズが集中する平日および土曜9時から17時半においては、常勤職員2名、非常勤職員1～5名を配置した。

夜間時間帯および日曜祝日の昼間は、非常勤職員1名以上を配置した。

(3) 管理運営に関する会議

① 管理運営会議

効率的・効果的な管理運営のため、概ね月1回の管理運営会議において事業の進捗管理および施設管理方針の検討を行った。

実施日：4/27 5/20 6/27 9/5 11/14 1/16 3/28

② スタッフミーティング

月例および随時のスタッフミーティングによりタスクを管理するとともに、課題の洗い出し、解決方法を協議決定し、直ちに改善した。

実施日：5/9 6/23 8/8 9/5 10/3 11/28 1/9 2/27

③ 連絡会議

市担当課と連絡会議を実施しており、情報の共有や改善策の検討を行った。

実施日：5/17 7/21 9/12

(4) 防災訓練

防火管理者の指導のもと避難経路、器具や消火器の場所を確認し、館内放送設備使用方法を学び非常時の対応を確認した。

実施日：5/30 11/21

2. 指定管理者として実施する事業

(1) 公益活動に関する応談

内 容：NPO 法人や市民公益活動団体、地縁団体等の設立・運営・活動に関する助言、助成金申請相談など各種応談を行った。

場 所：市民活動交流センターほか

日 時：随時

対象者：NPO 法人、市民活動団体、地縁団体ほか

成 果：イベントの開催方法や助成金申請、NPO 法人の設立、組織運営、団体間のコーディネートなど多岐にわたる相談を受け付け、課題を整理し必要な支援を行った。

課 題：相談対応の出来るスタッフが限られており、対応可能な内容もスタッフにより差がある。今後も相談ケースの共有や OJT を通じて能力の向上と対応可能なスタッフの拡大をめざす。

大判印刷や機器レンタルの相談、依頼が多くあり内容によっては無償で実施しており経費がかさんでいる。

<相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	16	21	16	12	16	8	26	10	7	17	11	9	169

(2) 情報収集

内 容：地縁団体や市民活動団体に対して来館時やアウトリーチによる情報収集の実施。他施設で活動する団体に向けたアンケート票を作成(後掲)。

日 時：随時

対象者：地縁団体、市民活動団体

成 果：来館対応だけでなく声かけや団体の活動場所へアウトリーチを行い新しい市民活動団体の活動情報やニーズを得られた。

課 題：法人の情報誌の取材を通じて地縁団体の情報収集を行っていたが、発行を停止したため、これによる情報が得られなくなっている。今後はセンター情報誌の取材を通じて情報収集を行う予定である。

＜新規届出団体及び新規に情報収集した団体＞

団体名	活動内容
NPO 法人 VYSYOGI	ヨガを通じて健康な社会を作る
リーノこどもセラピー	就学前から中学生の発達が気になる子、学習につまづきのある子に対してサポートする
Nekko to Ohana	不登校の子どもやその家族が安心して過ごせる居場所作り
池田市政瓦版	質の高い市政、市議会を作るため情報誌の発行及びフォーラムの実施
池田市グリーンマルシェ実行委員会	池田市グリーンインフラ促進計画に基づき防災、環境、地域振興に貢献する
イケダ万博実行委員会	大阪、関西万博のレガシーとなる地域活性万博、人の個性を推進する人間万博を継続して行う
CONSOLATA	心のサポートルームとして働く女性、障がいを持たれるお子様の親の寄り添いを積極的に行い、悩んで死のうとする人々のサポートを行う
(特非)バブリックプレス	市民に対して、医療、介護、福祉などに関する情報・知識の広報と教育啓発、発信の場を提供し、社会参画の意識向上に寄与する
(特非)緑で地球を救う会	世界各地の人々に対して、国際緑化の推進運動に関する事業を行い、温暖化対策に寄与する
かのん介護	訪問介護（介護予防・日常生活支援を含む）居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援
わくわく育ちあいの会	インクルーシブ教育を進める団体で主に大阪市内で健常の子どもも含めた親の会を開催している
(特非)たなごころの会	軽度の知的障がい者等の社会的弱者に対して、就労を促すことにより経済的自立が行えるようにし、保護者の日常生活へのサポート負担の軽減と経済的負担の減少と地域社会の理解を深め、地域社会の安定化を図り、社会福祉に寄与する
あい鍼灸院・接骨院 石橋阪大前駅院	地元の自治会の方へ無償で施術する
ロングライフホールディング(株)	住宅型有料老人ホームの運営
親子で学べるお金の学校	元銀行員のスキルを生かし、池田市外（西宮、八尾、東大阪、泉大津）で子どもや学生向けに「金融リテラシー」についての出前授業を実施
(一財)未来キャンパスきみいろ	自分と家族を大切にして、それぞれの力を発揮できる環境や笑顔でいられる居場所作り、子育て中の母親の就労支援

(3) 情報発信

内 容：センターHP の開設に向けたサーバー契約やコミュニティ推進課とも協議しながらサイト構築作業を行った。

情報誌「しみかつ」を創刊し利用方法などを分かり易く紹介した。

センターFacebook ページも開設し交流センター主催イベントの開催告知や報告を行った。

センターメールマガジンの開設準備を行っているが、経過措置として当法人メールマガジン登録者に対し、市民団体等のイベント情報、助成金情報等を発信している。当会フェイスブックページやInstagramにおいてもイベント開催情報、団体支援情報等を発信した。

日 時：随時(メールマガジンは概ね月 1 回)

対象者：一般市民、市民活動団体、地縁団体、行政職員ほか

成 果：Facebook を開設し情報誌も創刊させ(創刊号 5,000 部)、市内関係箇所へ配布し市民への更なる周知に努めることができた。相談に来られた方や講座の申込者、新規届出団体などに積極的にメールマガジンの登録を勧め登録者数(197 名)を増やすことができた。

課 題：広報媒体が多様化しているため効率的な運用を行う必要がある。

情報誌は配布先を整理する一方、購読者を増やすための活動を行う。

(4) 市民活動交流センターGet together2024(別紙参照)

内 容：市民と市民活動団体、地域団体との交流や新規メンバーの獲得、団体間の連携強化、センターの認知度向上を目的としてセンター全館を使用したステージ発表、ワークショップ、作品展示を開催した。

場 所：市民活動交流センター

日 時：2024 年 2 月 23 日(金・祝)10:00～16:00

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

参加者：来場者約 300 名

ステージ発表 13 団体 ワークショップ 14 団体 作品展示 6 団体

成 果：初めての全館を使用したイベントで多数の来場者を得て多様な活動をされている団体と市民との交流の場となった。新型コロナウイルスが第 5 類に分類され活動を自粛していた団体もこのイベントを機に活動発表することができた。初めて交流センターに来場いただいた方も多く周知を図ることができた。アンケートから参加者・来場者ともに満足度が高く継続を希望する声が多数寄せられた。

課 題：来場者が多くなることを想定して今回は西光寺の協力を得て臨時駐輪スペースを確保できたが、一般利用者が交流センターを使用して大規模イベントを開催する際の駐輪スペース確保が難しい。当日は近隣有料駐車場が満車になり駐車が困難との声があった。

来場者の多くが口コミであったので今後の広報方法を検討する。

次年度は参加された団体などに呼びかけ実行委員会を組織し企画の段階から参加してもらい役割分担を決め当日の運営にあたってもらうことも検討する。その過程で参加団体の企画力や広報のスキルアップや新しい団体間ネットワークが生まれるような場になるような配慮する。

(5) 人材育成(別紙参照)

① 市民活動講座

内 容：市民活動の継続発展に必要な知識や技術を学ぶ講座を開催した。

場 所：市民活動交流センター

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：定例相談会「つながる会」や日常の相談業務の中で多く寄せられた「広報」をテーマとした講座では伝えたい相手の立場になって広報を行うよう意識しターゲットに合った媒体を選択することを学んだ。

「居場所づくり」講座では実践している2名から事例を伺い地域と人、人と人をつなげていくためどのように活動していくかのヒントを得た。

助成金講座では申請する際の日頃の準備や申請時の注意点について学んだ。市の助成金説明会を同日に開催することで理解がより深まった。各講座内で参加者間の交流の時間を取ったことで情報交換や新しいつながりができ、お互いの活動の良い所を出し合うことでモチベーションの向上にも寄与した。

また、参加者数および参加申込いただけなかった方から再度の実施要望があったことから一定、助成金に関する講座の需要があることが分かった。

課 題：池田市公益活動助成金の受付開始時期が間近であったため開催時期の見直しも検討する。

<実施講座>

実施日時	テーマ	講師	参加者
9/16(土) 10:00 ～12:00	市民活動の「広報はじめの第一歩」	うえはら まり 株式会社 LIT 代表取締役	5 名
1/20(木) 10:00 ～12:00	わたしの居場所のつくり方	志水 晨 NPO しんじん・るい代表 ゲレンチェール 亜子 お城まるしえ主催	12 名
3/20(水祝) 10:30 ～11:30	助成金申請 ミニ講座	谷田 成司 交流センター長 (NPO 法人トアエル理事)	9 名

② つながる会

内 容：池田で活動しているこれから活動を始めたい方、活動情報が知りたい方、他団体と繋がりたい団体、運営に悩む団体など、どなたでも参加いただける情報交換会を開催し、必要に応じて応談、情報提供を行った。

場 所：市民活動交流センター

日 時：年 5 回実施 10:00～11:30

6/16(金)4 名、8/19(土)1 名、10/20(金)5 名、12/16(土)4 名、2/16(金)5 名

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：様々な分野で活動する方、これから始めたい方が集い資金や広報、地域との連携などの悩みや活動に対する想いを共有することができた。

課 題：各回の参加者数を増やし更に交流を深められるよう周知を図る。

③ つながる交流会

内 容：つながる会の参加者や活動相談の利用者からの要望に応じ、共通のテーマでディスカッションする交流会を開催した。

場 所：市民活動交流センター

日 時：2023 年 11 月 29 日(水)10:00～12:00

対象者：市民活動団体、一般市民

参加者：3 名

成 果：子どもや保護者へのピアサポート、障害に関わる分野で活動をしている団体・個人に集まっていた活動のきっかけや現状、課題について情報交換を行い新しいつながりを持つことができた。

課 題：参加意思があるものの日程調整がつかず参加を断念された方もあったため、今後も要望やマッチングの必要があれば随時実施を検討する。

(6) 自主事業

ミニサロン「にじいろ～みんなでお話ししましょう～」

内 容：地域人材の発掘・エンパワメント、市民活動の活性化および居場所づくりを通じた子育て中の母親の社会的孤立解消・家族支援など社会課題の解決を目的としたサロンの開催。

場 所：市民活動交流センター

日 時：年 3 回実施 10:00～11:30

5/25(木)3 名、6/29(木)5 名、7/13(木)5 名

講 師：櫻井 眞佐江 元健康増進課にじいろ相談窓口相談員

対象者：一般市民

成 果：講師とともに参加者の社会的孤立解消および家族支援を継続的に丁寧に行うことができ、子育て支援センターの空白地帯において地域の子育て中の保護者達の新たな居場所作りに貢献し、交流センターの認知向上にも寄与した。また運営補助として見守り保育に「保育ボランティア『だっこ』」と協働したことで、

市民活動の機会創出、多世代交流の場となった。

課題：この事業を通じて参加者が自発的にグループを設立し活動を行うなど、当初目標としていた幅広い地域人材の発掘・育成につなげることが困難なため本年度を持って終了することとした。

3. スタッフ研修

(1) 北摂ともにプロジェクトにおける研修

内容：内閣府の孤独孤立対策活動基盤整備モデル調査事業「府県域をまたぐ生活圏域をベースとした中小 NPO の活動強化支援モデル構築事業」で孤独、孤立をテーマに活動している 5 つの市民活動団体への伴走支援や交流会、スキルアップのための講座を開催した。

場所：市民活動交流センター、大阪府下、関西支援センター、オンラインほか

実施日：2023 年 6 月～2024 年 3 月

対象者：センター勤務スタッフ、市民活動団体ほか

成果：北摂 7 市との市民活動センター運営団体による「北摂ともにプロジェクト」に参画し 5 つの市民活動団体への伴走支援や交流会、スキルアップのための講座開催、中間支援組織の無い府県への調査を通じたスタッフ研修で中間支援組織としての専門性を高めるとともにアウトリーチによる団体の情報収集に努め、交流センター運営および団体支援に役立てた。市民活動団体への伴走支援では、当センターでは前年度に引き続き池田市で子ども食堂を展開する団体「NPO しんじん・るい」をサポートした。

課題：人材育成においては、研修を受けるスタッフの問題意識や向上心、取り組んだ後の振り返りなどが重要であり、そのためのマネジメントに取り組んで行く。また、継続した連携を通じて中間支援人材の育成につなげていく。

4. 調査研究

内容：市内の公共施設利用団体に対して活動内容や相談ニーズ、センターの認知度などを調査し、今後の支援に繋げるためのアンケート票を作成した。作成に当たっては池田市社協にも意見を聴いた。またコミュニティ推進課とも協議し、配布先や配布方法を検討した。

場所：主として池田市内

日時：随時

対象者：市民活動団体、地縁団体、行政職員、一般市民

成果：アンケートの配布方法や配布対象を特定できた。また、経験の浅いスタッフ数名に検討してもらうことによって市民活動に対する理解を深めてもらうことが出来た。

課題：アンケートの回収率の向上方法の検討が必要。

2024 年度 池田市立市民活動交流センター 事業報告書

期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

場所：大阪府池田市新町 1-8 ほか

総括

池田市立市民活動交流センター(以下交流センター)がオープンしてから約 3 年が経過し市民からの認知度も上がり利用人数も増えて来ており、フリースペースや多目的室があることでより幅広い世代に利用いただけている。オープン当初より利用者から要望の多かったフリーWi-Fi が設置されたことでフリースペース利用者から好意的な声をいただいているが子ども達が長時間滞在しインターネット接続を利用したゲームなど行い大声を上げて他の利用者に迷惑をかける場面もあった。貸室の予約時期を 3 ヶ月前からの受付に変更した事で利用者にとって活動計画が立てやすくなり予約のために月初に並ぶ利用者の数も減少した。また、前年度からオンライン予約システムの設計に協力し、システムを試験運用するなど準備を進めた。

公益活動促進業務としては、新たに開設した交流センターの HP とメールマガジンをはじめ情報誌「しみかつ」やFacebook を活用し交流センターの利用方法や団体イベント情報、助成金情報などを発信した。

前年度に引き続き全館を使用した交流イベント「市民活動交流センターGet together2025」を開催した。今回は地域団体や市民活動団体に呼びかけ実行委員会を組成し、企画段階から市民に参画いただき、協力して当日の運営にあたった。準備を進める中で、これまでになかった新しいアイデアを具体化することが出来、委員間の相互理解が深まったことで団体間のコラボも生まれた。当日も前年度に比べ参加者が増加し、交流センターの更なる周知に寄与するとともに市民と市民活動、地域活動団体の発表・交流の場を提供することができた。

これから活動を始めたい方、運営に悩みのある団体、他の団体と繋がりたい方などの情報交換会「つながる会」も継続実施した。また、池田でまちづくりや SNS での広報活動を実践している方の事例や紹介、助成金申請に関する講座を開催した。

本年度も北摂 7 市の中間支援組織が協働で取り組む「北摂ともにプロジェクト」に参画し、連携しながら市内外の市民活動団体の伴走支援などを行うとともに、このプロジェクトを通じて中間支援の能力向上に取り組んだ。

1. 施設管理業務

(1) 管理運営

開館時間：9:00～21:30

休館日：月曜日、12月29日から翌年1月3日まで

以下の業務を予め作成した市民活動交流センターマニュアルに基づき適切に実施した。

- ・貸室、メールボックス、ロッカー等の使用に係る申込受付および問合せ対応
- ・印刷対応、備品の貸出および使用方法の説明
- ・施設・設備の清掃・消毒および植栽・駐輪場の維持管理

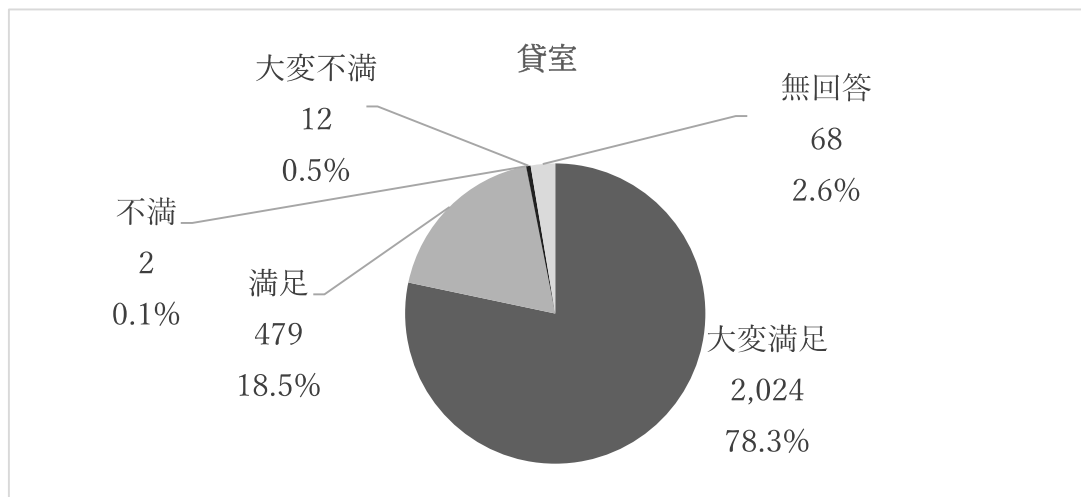
<年間利用者数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸室	1,609	1,931	1,873	2,385	1,703	2,352	2,364	2,609	2,500	1,969	2,387	2,000	25,682
2階スペース	818	1,086	1,063	1,365	1,303	1,308	1,283	1,240	893	890	1,209	1,057	13,515
計	2,427	3,017	2,936	3,750	3,006	3,660	3,647	3,849	3,393	2,859	3,596	3,057	39,197

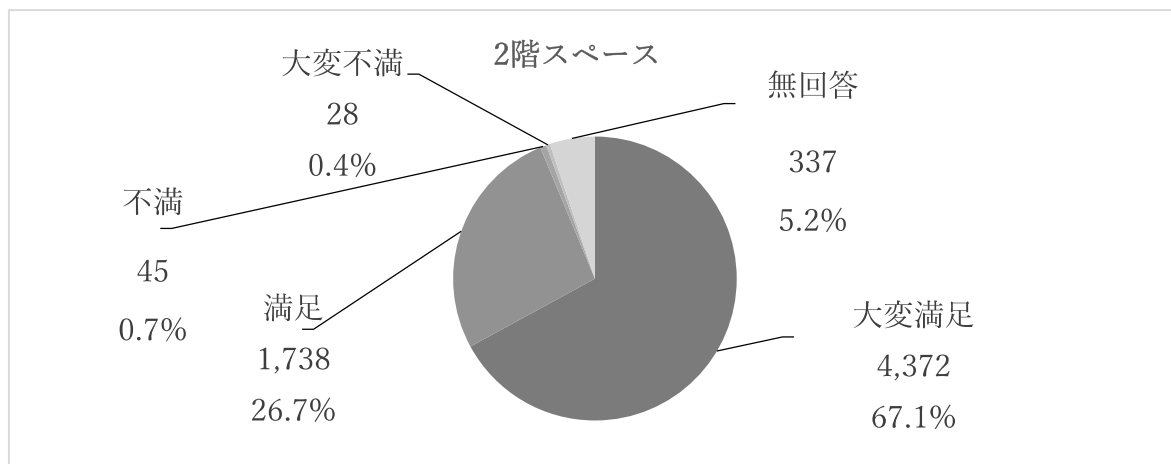
※2階スペースはフリースペースとキッズスペースに若干の相談室利用が含まれている

※2/15 全館使用イベント約350名含まず

<利用者満足度>回答：貸室 2,585件 2階スペース 6,520件



※大変満足と満足を合計すると96.8%になり利用者の満足度が高いことが伺える。大変不満、不満については不満の理由の記載がないものが多く対応が難しい。

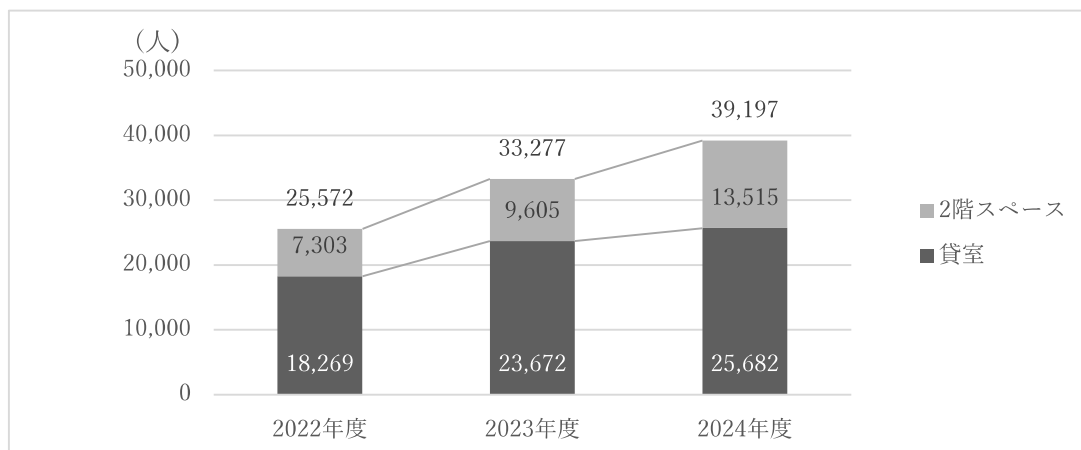


※大変満足と満足を合計すると 93.8%になり利用者の満足度が高いことが伺える。大変不満の回答については、利用者間のトラブルや利用方法の注意に対する反感で回答されるケースが多々見受けられ後日、記入理由を確認した所、大変満足と記入するところ間違えて記入されたことが判明する場合もあった。不満については理由を記載していないものがほとんどだった。

<月平均貸室稼働率>

小会議室 1	多目的室 1	多目的室 2	多目的室 3	小会議室 2	中会議室	大会議室	合計
30.8%	60.7%	18.9%	15.7%	29.2%	27.4%	28.3%	30.2%

<利用者数の推移>



<ロッカー、メールボックス利用状況>

ロッカー(大)	ロッカー(長)	ロッカー(中)	ロッカー(小)	メールボックス
4 個/4 個	2 個/6 個	14 個/16 個	11 個/24 個	8 個/24 個

(2) 人員配置および運営体制

相談ニーズが集中する平日および土曜 9 時から 17 時半においては、常勤職員 2 名、非常勤職員 1～5 名を配置した。

夜間時間帯および日曜祝日の昼間は、非常勤職員 1 名以上を配置した。

(3) 管理運営に関する会議

① 管理運営会議

効率的・効果的な管理運営のため、管理運営会議において事業の進捗管理および施設管理方針の検討を行った。

実施日：5/7、7/11、9/5、10/8、12/12、2/6、3/25

② スタッフミーティング

月例および随時のスタッフミーティングにより相談事案、利用者意見、事故・故障などの共有を行うほか、事業企画の立案やタスクを管理するとともに、課題の洗い出し、解決方法を協議決定した。

実施日：5/14、6/25、7/30、8/27、9/24、10/29、11/27、1/28

③ 連絡会議

市担当課と連絡会議を実施しており、情報の共有や改善策の検討を行った。

実施日：3/19(2025 年度事業計画について)

(4) 防災訓練

防火管理者の指導のもと避難経路、器具や消火器の場所を確認し、館内放送設備使用方法を学び非常時の対応を確認した。

実施日：6/20、10/29

2. 指定管理者として実施する事業

(1) 公益活動に関する応談

内 容：NPO 法人や市民公益活動団体、地縁団体等の設立・運営・活動に関する助言、助成金申請相談など各種応談を行った。

場 所：市民活動交流センターほか

日 時：随時

対象者：NPO 法人、市民活動団体、地縁団体ほか

成 果：イベントの開催方法や助成金申請、NPO 法人の設立、組織運営、団体間のコーディネートなど多岐にわたる相談を受け付け、課題を整理し必要な支援を行った。

課 題：スタッフの育成のため継続して北摂ともにプロジェクトに参加し対応力の向上を図った。相談時に情報の聞き漏らしが起こらないようチェックリストの作成を進めている。

<相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	11	9	7	15	10	15	16	18	11	10	9	10	141

(2) 情報収集

内 容：地縁団体や市民活動団体に対して来館時やアウトリーチ、SNS などによる団体情報の収集に努めるとともに各種メルマガや Web サイトにより市民活動団体が活用できる助成金情報を収集した。他施設で活動する団体に向けたアンケート調査を実施した(後掲)。

日 時：随時

対象者：地縁団体、市民活動団体

成 果：利用対応だけでなく声かけや団体の活動場所へアウトリーチを行い市民活動団体とその活動情報やニーズを得られた。管理する SNS に高評価など反応いただいた団体などの SNS 投稿を調査した。

課 題：地縁団体の困りごとや支援ニーズを得る手段の検討、他施設でのアンケートの回収率が芳しくなかったため実態確認方法にも工夫が必要。

<新規に情報収集した団体>

団体名	活動内容
大阪池田ボッチャクラブ	ボッチャの普及活動、練習やイベント参加での競技力向上を通じてコミュニケーション豊かな楽しい、優しい世界をめざす。
BACK YOUR LUCK	子ども・子育て世代へ向けたメッセージを SNS で発信する。
さくらセラピー	音楽療法を使用し子育てママや高齢者、障がい者に対しセラピーを行う。
いけだカーリンコンクラブ	年齢を問わず楽しめる、ルール簡単な室内競技カーリンコン教室や大会の開催及び指導者の派遣や用具の貸出しを行う。
CONSOLATA	石橋のカウンセリングルームなどで働く女性の相談やゲートキーパーに取り組む。
パーキンソン病友の会北摂翠会	パーキンソン病の当事者と家族の会。リハビリやつながりづくり、知識の普及など。
楽・アンダンティーノ	介護施設の運営。
エリア・ファシリティマネジメント研究会	(一財)池田みどりスポーツ財団の呼びかけにより発足した研究会。駐車場、公園、スポーツ施設、団地の4つの施設における取り組みを検討しており、3つほど具体化している。
さくら通り協議会	さくら通りの素晴らしさを広報し盛り上げようとされているグループ。
池田レッドアーミー	約50年続いている少年野球チーム。
能勢町バレーボール	能勢町でのバレーボール大会を開催する。

団体名	活動内容
協会	
グループダイナミクス研究所	集団力学の考えに基づいた相互啓発によって、一人ひとりの内発的な意欲と目標創造力を高め、健幸で志を持って前進できる社会を創造する。
ミュージカルクラブ STUDIO ciel	子どものダンスとうたの教室を開催する。
(株)ココレポート	障がいのある方の就労移行支援を行う。
(株)RAF 就労支援 A型事業所TSUBASA	障がい者作業所の運営と弁当の配達を行う。
日本フードスタディズカレッジ	「食」と食文化に関する科学的な研究や情報発信を行い、誰もがその成果を学ぶことができる教育システムを提供する。
(特非)プラットフォーム見聞体験	見る・聞く・体験、これら三位一体の要素を取り入れた見聞体験をコンセプトに、人・モノ・情報の魅力ある地域資源をプラットフォームに集約し、組み合わせ、結びつけることによりニューツーリズムを基軸としたコンテンツを造成する活動している。
そろタッチ 池田駅前校	大人向けのそろばん教室を開催している。
池田市バンビ 習字教室	子ども向けの書道教室を開催している。
(一社)自然大陸	大阪南部を中心に子ども向け自然体験プログラムを提供する。
アルビス緑ヶ丘 モルッククラブ	だれでも参加できるモルック大会主催と定期練習を行う。

(3) 情報発信

内 容：新しく開設した交流センターHP や Facebook ページ、情報誌「しみかつ」、にて利用方法や交流センター主催イベントの開催告知や報告、市民活動団体の活動の様子を紹介した。

開設したセンターメールマガジンではメールマガジン登録者に対し、市民団体等のイベント情報、助成金情報等を発信している。当会フェイスブックページやインスタグラムにおいても交流センターのイベント開催情報、団体支援情報等を発信した。

日 時：随時(メールマガジンは概ね月 1 回)

対象者：一般市民、市民活動団体、地縁団体、行政職員ほか

成 果：交流センターHP を見た利用者からも利用方法についての問合せがあった。情報誌を 7 月(4,500 部)、11 月(4,300 部)、3 月(4,300 部)に発行し、配布先の見直しも行いながら市内関係箇所へ配布した。交流センターHP から情報誌の

内容を閲覧できるようにして市民への更なる周知に努めた。Facebook など SNS の活用により即時性の高い情報提供が行えた。相談に来られた方や講座の申込者などに積極的にメールマガジンの登録を勧め登録者を増やすことができた。(3月末時点で273アドレス登録)

課 題：メールマガジンの適時発信や発信頻度の向上。

(4) 市民活動交流センターGet together2025(別紙参照)

内 容：市民と市民活動団体、地域団体との交流や新規メンバーの獲得、団体間の連携強化、センターの認知度向上を目的としてセンター全館を使用したステージ発表、体験、ワークショップ、作品展示を開催した。今回は、実行委員会形式での開催とし、参画団体の企画力や広報力などのスキルアップも狙った。

場 所：市民活動交流センター

日 時：2025年2月15日(土)10:00～16:00

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

参加者：来場者約350名

ステージ発表13団体 体験7団体 ワークショップ15団体 作品展示5団体

成 果：今年度は、地域団体や市民活動団体に呼びかけを行い企画の段階から実行委員会に参画いただき運営にあたった。他施設と連動したワードラリーの開催や観光大使の織姫姉妹の招待、フォトスポットの設置など新たな試みにチャレンジすることが出来、昨年度より多数の来場者があった。また準備を進める中で委員通しの相互理解が深まり新たな団体間のコラボが生まれた。委員の中には普段の活動では行わないイベント運営や SNS の活用などにチャレンジしスキルアップを図った団体もいあった。4F のワークショップコーナーでは参加者同士の交流が起こり新たなネットワーク作りに寄与できた。今回も参加者・来場者ともに満足度が高いことがアンケートからわかった。

課 題：ステージ出演の場面転換などに戸惑うこともあったため次回はステージを大会議室へ変更することも検討する。ワードラリーは一度交流センターを退館した来場者に戻って来てもらい再度ステージ鑑賞やワークショップなど参加いただく狙いがあったが、一度退館してから戻って来るハードルが高く思ったよりラリーの参加者が少なかった。ステージで自分たちの出番が終わると帰ってしまう参加者も多かったので「みんなの発表会」であることを共有する仕掛けづくりが必要である。

(5) 人材育成(別紙参照)

① 市民活動講座

内 容：市民活動の継続発展に必要な知識や技術を学ぶ講座を開催した。

場 所：市民活動交流センター

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：定例相談会「つながる会」や日常の相談業務の中で多く寄せられた「助成金」「先進的な事例紹介」「広報」をテーマとした講座を開催した。

「助成金講座」では、日頃の準備や申請時の注意点を伝えた。春と秋に多く募集されるが昨年度は3月に開催したが時期を秋を前にした8月に開催し、昨年度と同程度の参加を得た。昨年度、助成金の探し方についての質問が多かったため、その点の説明を補強した。

「社会実験講座」では、官民連携で地域を盛り上げるゲスト2名を招き、協働の工夫や想いを聞いた。交流会では市内外からさまざまな関心を持った参加者同士でグループワークを行い、活発な交流が生まれた。

「広報講座」では、地域でSNS発信を行う2名から継続の工夫や発信時のルールづくりを学び、後半は発信者同士の交流タイムとした。20以上の活動紹介があり、つながりと発信力の強化につながった。伝えたい相手の立場になって広報を行うよう意識しターゲットに合った媒体を選択することも学んだ。

講座全体を通じて、各講座内で参加者間の交流の時間を設けたことで、交流が活発化し、活動への意欲向上にもつながった。

課 題：「助成金講座」では、行政・民間の助成元があることの説明や池田市の申請様式について紹介すると良い。質問しやすくする工夫も必要。

「社会実験講座」では、想定以上の参加があり会場を変更した。ゲストの影響力を見込み、事前準備を徹底する必要があった。打合せ時間も不足したため、早めのシナリオに努める。

<実施講座>

実施日時	テーマ	講師	参加者
8/31(土) 10:00～ 12:00	もう怖くない！ 助成金申請講座	谷田 成司 (交流センター)	8 名
9/29(日) 10:00～ 12:00	イケダを切り拓く人たち ～社会実験ってなに？～	吉岡 博充 (おさんぽマルシェ) 神田 智範 (イケダ万博 ・池田市グリーンマルシェ)	32 名
1/18(土) 10:00～ 12:00	SNS 中の人集まれ！ 広報お悩み持ちより会	渡辺 敦子 (Instagram「kawanishi_ikeda」) 篠原 利香 (Facebook「大阪池田市の輪」)	18 名

② つながる会

内 容：池田で活動しているこれから活動を始めたい方、活動情報が知りたい方、他団体と繋がりたい団体、運営に悩む団体など、どなたでも参加いただける情報交換会を開催し、必要に応じて応談、情報提供を行った。

場 所：市民活動交流センター

日 時：年 4 回実施 10:00～11:30

6/6(木) 5 名、9/21(土) 7 名、12/21(土) 3 名、3/5(水) 5 名

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：様々な分野で活動する方、これから始めたい方が集い資金や広報、地域との連携などの悩みや活動に対する想いを共有することができた。実施 2 年目となる今年度は、つながりを求めて継続的に参加される活動者や、社会貢献を目的とした事業者の参加があり、参加者同士で自発的に活動に参加し合うなどの動きも見られた。

課 題：参加者のニーズは多様であり、施設への要望や自団体の事業の紹介にとどまるケースも見られた。参加者同士の理解を深め、互いへの関心を高められる場をめざし、当日の進行や広報において工夫できることを検討する。また、公益活動への認知を高め市民活動の担い手を育成できる場となるよう努める。

③ みんなで作業の会

内 容：公益活動を行う団体や個人に対し、総会資料などの書類作成に関する気軽に相談できる機会を提供すると共に、他の団体との交流を通じて相互に学び合う環境を提供する。

場 所：市民活動交流センター

日 時：年 2 回実施 10:00～17:00

4/13(土) 2 名、5/11(土) 1 名

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：当初の実施目的であった公益活動にかかわる書類作成相談については希望者がいなかったが、SNS 発信のレクチャーや広報掲示物の作成を個別でサポートすることができた。また参加者の活動近況を把握する機会となった。

課 題：総会資料の作成など各団体で一部メンバーの負担になっていることを想定して、総会時期に同様の方々に集まっていただこうと考えたが、想定した方々の参加はなかった。時期、作業内容にこだわらない開催を検討する。

④ しみかつランチタイム

内 容：多用途で利用できる 2 階フリースペースを市民活動者や市民が気軽に利用・交流し、情報収集できる場として活用すると共に、利用促進を図ることを目的として実施した。

場 所：市民活動交流センター

日 時：年 3 回実施 12:00～13:00

7/23(火) 2 名、10/22(火) 3 名、12/27(金) 8 名

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：フリースペースを意見交換の場として活用し、日常の利用状況の把握を行った。またフレキシブルにテーマを設定しての情報交換や交流を行うことができた。参加者より持ち込まれた話題や意見、相談を別途開催する人材育成講座のテーマとして活用できた。また、フリースペース利用者とのコミュニケーションを図る機会となった。

課 題：すでに着席利用している利用者への参加呼びかけや、長期休暇中の実施は利用者が多く、催しとして席を確保することが困難であった。予約なしで利用できる 2 階で催しを行う際は、今後呼びかけの仕方や開催時期を検討する。

3. スタッフ研修

北摂ともにプロジェクトにおける研修

内 容：北摂 7 市の市民活動センター運営団体等による「北摂ともにプロジェクト」(2025 年度は内閣府の孤独孤立対策活動基盤整備モデル調査事業「府県域をまたぐ生活圏域をベースとした中小 NPO の活動強化支援モデル構築事業」)に参画し孤独、孤立をテーマに活動している 5 つの市民活動団体への伴走支援を通じたスタッフ研修を行う。

場 所：市民活動交流センター、大阪府下、関西支援センター、オンラインほか

実施日：2024 年 6 月～2025 年 3 月

対象者：センター勤務スタッフ、市民活動団体ほか

成 果：北摂 7 市が連携した市民活動団体への伴走支援を通じた実践的なスタッフ研修により中間支援の専門性を高めた。また、池田市内の団体へアウトリーチし団体の情報収集に努め、団体支援に役立てた。

課 題：伴走支援について支援先団体と直接会ってお話を伺う機会が少なく、チーム内でオンライン会議なども活用し支援にあたったが、少ないヒアリング回数でどのようにサポートを行えるか正確な支援の見立てが必要になると考えられる。人材育成においては、本取り組みに限らず各種事業に取り組んだ後の振り返りが重要であり、これに取り組む。また、継続した連携を通じて中間支援人材の育成につなげていく。

4. 調査研究

内 容：交流センター以外で活動する団体の状況を知り、池田市内への広範なサポートや各者の交流・連携促進につなげるため、比較的利用団体数の多い池田駅前北会館・南会館、中央公民館、ダイバーシティセンターの計4施設に協力いただき、各施設を利用する団体にアンケートを配布した。作成に当たっては池田市社協にも意見を聴いた。またコミュニティ推進課とも協議し、配布先や配布方法を検討した。

場 所：池田駅前北会館・南会館、中央公民館、ダイバーシティセンター（4施設）

日 時：2024年7月18日（木）～2024年9月30日（月）（75日間）

対象者：市民活動団体、地縁団体

配布方法：各施設管理者より利用団体へアンケート用紙を直接手渡し

（実際は設置のみが多かった模様）

回答方法：用紙に記入の上、封筒に入れ施設へ提出又は用紙に記載の二次元コードよりWeb回答

配布数：施設設置180 団体配布数：73 有効回答数：11

回答グループ名：混声合唱団エヴァグリーン、茶道いけばなを楽しむこどもの会、楽しい社交ダンス、健康体操（元、リズムミック・モーション）、男性料理「あなたも厨房に入ろう」、池田エスペラント会、池田初心俳句会、EC池八会、韓国語勉強会、池田短歌研究くれは会、篆刻講座

意見：交流センターについてご要望や団体・代表者の抱える困りごと（全て）

・練習場所の確保に苦労している。ピアノが大きい部屋にあると嬉しい。

（混声合唱団エヴァグリーン）

・社交ダンスはダメと言われた。（楽しい社交ダンス）

・公民館では、募集の機会がなく、会員の人数が少なくなっている。

（男性料理「あなたも厨房に入ろう」）

・短歌会のメンバーが減る一方なので、一人でも多く会を見学してもらい、

入会して頂きたいと思っている。（池田短歌研究くれは会）

・今後共利用の考えはありません。（池田初心俳句会）

施設名	施設設置数	配布団体数	回収数	有効回答数	回収率	回答率
池田駅前北会館	50	23	0	0	0%	0%
池田駅前南会館	50	5	0	0	0%	0%
中央公民館	40	40	29	11	73%	28%
ダイバーシティ	40	5	0	0	0%	0%
合計	0	73	0	0	40%	15%

成 果：交流センター以外で活動している団体の状況について、一部ではあるが把握することができ、各団体が課題と考えていることについて理解を深めることがで

きた。また、必要としている方にはメルマガを配信することで、情報提供の機会を広げることができた。

内部的な成果としては、経験の浅いスタッフ数名に検討のプロセスに関わってもらうことで、市民活動に対する理解を深める機会となった。

課題：アンケートの回収率の向上方法や団体情報の収集について他の方法や仕組みの検討。

2025 年度 池田市立市民活動交流センター 事業報告書

期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

場所：大阪府池田市新町 1-8 ほか

総括

池田市立市民活動交流センター(以下交流センター)はオープンして4年目となった。かねてよりシステムの設計にあたり意見提案やテストなどに協力してきた池田市公共施設予約システムの運用がスタートし、オンラインでの予約受付が可能となった。利用にあたり混乱のないよう導入開始および利用方法の周知や独自マニュアルの作成・更新、オペレーションの修正などを行い、大きなトラブルなく利用者にも利便性ほか一定好評をいただいている。

公益活動促進業務としては、交流センター利用者への声かけや団体の活動場所へアウトリーチを行い市民活動団体とその活動情報やニーズなど情報収集を行うと共に、交流センターHPとメールマガジンをはじめ情報誌「しみかつ」やFacebookを活用し交流センター事業や団体イベント情報、助成金情報などを発信した。

今年度は、市民活動への参加者・協力者・担い手の拡大をめざし、市民活動の実践者に企画いただく「市民企画講座」を初開催した。講話・体験・対話を組み合わせた講座により参加者の市民活動への理解促進、団体間における新たな連携に寄与すると共に市民団体の活動を言語化する機会を提供する場としても機能した。

市内で子ども食堂を開催している団体に声をかけ、2回にわたり初めての「こども食堂交流会」を開催した。参加申込や振り返りアンケートにより実態やニーズについて把握し、得られた意見を踏まえてLINEオープンチャット「(仮称)いけだ子ども食堂ネットワーク」を立ち上げた。

事業計画にはなかったが、相談ニーズを踏まえて近接の自治会によるミニ交流会を開催し、継続開催の要望を受けた。

全館を使用した交流イベント「市民活動交流センターGet together2026」は3回目となり今回も地域団体や市民活動団体に呼びかけ実行委員会を組成し、協力して企画および当日の運営にあたった。委員のサポートによりイベント特設サイトを開設し広報促進と効率的な情報発信を行った。出展・出演者への当日ボランティア募集、お互いの関心を高めるための事前交流会、イベント・市民団体・交流のセンター認知度向上をめざし商店街でのパレードやスタンプラリーなど新たな試みも行い各種の成果が得られ、前年度に比べて当日参加者も増加した。

これから活動を始めたい方、運営に悩みのある団体、他の団体と繋がりたい方などの情報交換会「つながる会」も継続実施した。また、池田でまちづくりやSNSでの広報活動を実

践している方を招いてお互いに学び合う講座や、助成金申請講座を開催した。

本年度も北摂 7 市 1 町の間支援組織が協働で取り組む「北摂ともにプロジェクト」に参画し、連携しながら市内外の市民活動団体の伴走支援や講座企画実施を行い、プロジェクトを通じた中間支援の能力向上に取り組んだ。

1. 施設管理業務

(1) 管理運営

開館時間：9:00～21:30

休館日：月曜日、12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

以下の業務を予め作成した市民活動交流センターマニュアルに基づき適切に実施した。

- ・ 貸室、メールボックス、ロッカー等の使用に係る申込受付および問合せ対応
- ・ 貸室のオンライン予約およびそのための利用者登録、関係する問合せへの対応。
- ・ 貸室、メールボックス、ロッカーの使用料の収受
- ・ 印刷・コピー対応および用紙補充ならびに釣銭管理
- ・ 備品の貸出および使用方法の説明
- ・ 施設・設備の清掃・消毒および植栽・駐輪場の維持管理

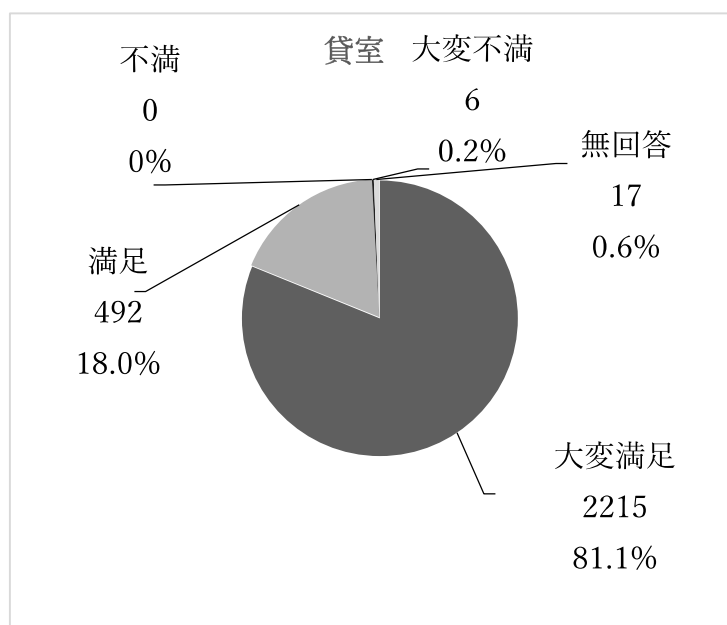
<年間利用者数>

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
貸室	1,956	2,572	2,049	2,406	1,774	2,456	2,840	2,275	2,453	1,849	2,273	1,811	26,854
2 階 スペース	930	1,049	1,323	1,375	1,106	1,090	1,303	1,220	948	1,062	961	918	13,285
計	2,886	3,621	3,372	3,781	2,880	3,546	4,143	3,495	3,401	2,911	3,234	2,729	39,999

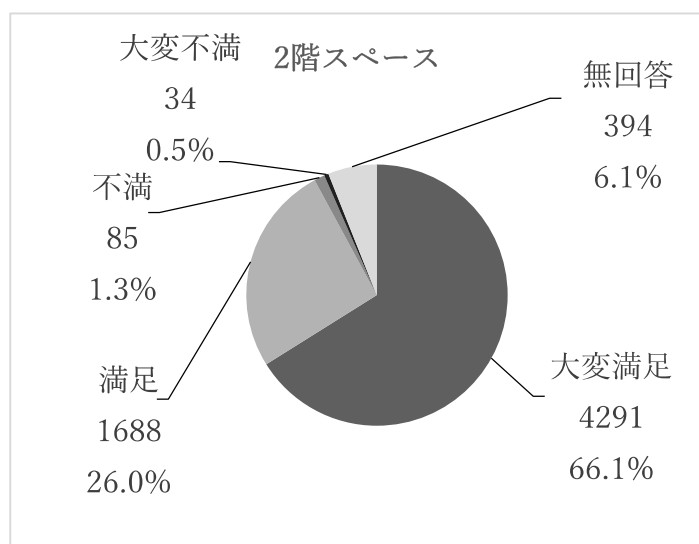
※2 階スペースはフリースペースとキッズスペースに若干の相談室利用が含まれている

※3/14 全館使用イベント約 400 名含まず

<利用者満足度>回答：貸室 2,730 件 2 階スペース 6,492 件



※大変満足と満足を合計すると 99.1%になり利用者の満足度が高いことが伺える。大変不満、不満については貸出機材がうまく使用できなかったり、空調や照明、部屋が汚れていたなどの意見があった。

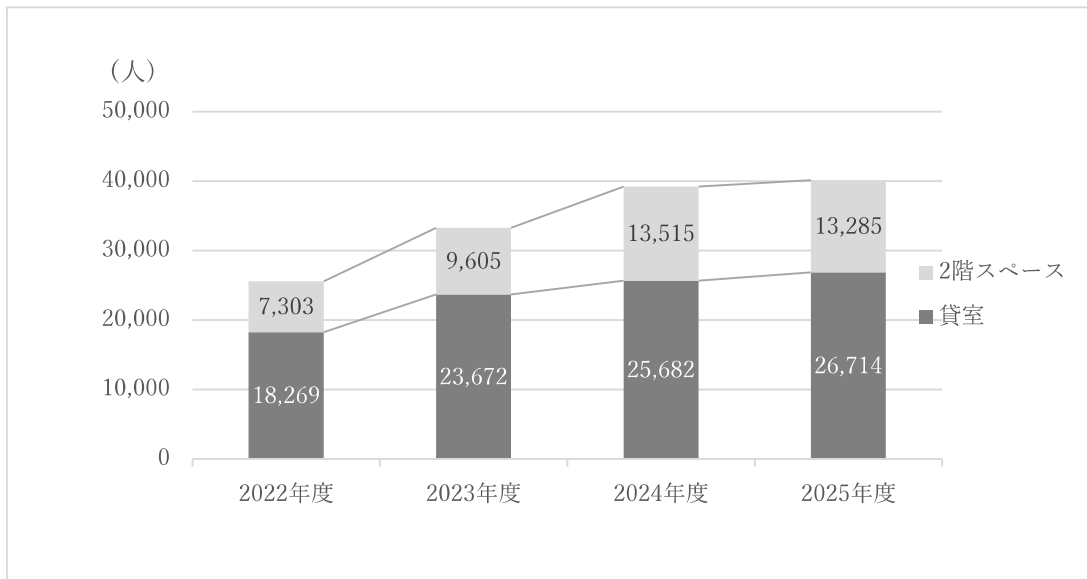


※大変満足と満足を合計すると 92.1%になり利用者の満足度が高いことが伺える。大変不満、不満の回答については、小中学生がうるさいなど利用者間のトラブルやフリースペースとキッズスペースを別々の場所にして欲しいという要望や中学生以上もキッズスペースを利用したいなどの意見があった。

<月平均貸室稼働率>

小会議室 1	多目的室 1	多目的室 2	多目的室 3	小会議室 2	中会議室	大会議室	合計
25.4%	60.5%	19.1%	24.0%	30.1%	27.0%	32.5%	31.2%

<利用者数の推移>



<ロッカー、メールボックス利用状況>

ロッカー(大)	ロッカー(長)	ロッカー(中)	ロッカー(小)	メールボックス
4 個/4 個	2 個/6 個	15 個/16 個	14 個/24 個	10 個/24 個

(2) 人員配置および運営体制

相談ニーズが集中する平日および土曜 9 時から 17 時半においては、常勤職員 2 名、非常勤職員 1～5 名を配置した。

夜間時間帯および日曜祝日の昼間は、非常勤職員 1 名以上を配置した。

(3) 管理運営に関する会議

① 管理運営会議

効率的・効果的な管理運営のため、管理運営会議において事業の進捗管理および施設管理方針の検討を行った。

実施日：5/8、7/3、9/2、11/6、1/6、3/6

② スタッフミーティング

月例および随時のスタッフミーティングにより相談事案、利用者意見、事故・故障などの共有を行うほか、事業企画の立案やタスクを管理するとともに、課題の洗い出し、解決方法を協議決定した。

実施日：5/27、6/24、7/29、9/3、9/30、11/7、12/5、1/20、3/3

(4) 防災訓練

防火管理者の指導のもと避難経路、器具や消火器の場所を確認し、館内放送設備使用方法を学び非常時の対応を確認した。

実施日：6/25、12/18

2. 指定管理者として実施する事業

(1) 公益活動に関する応談

内 容：NPO 法人や市民公益活動団体、地縁団体等の設立・運営・活動に関する助言、助成金申請相談など各種応談を行った。

場 所：市民活動交流センターほか

日 時：随時

対象者：NPO 法人、市民活動団体、地縁団体ほか

成 果：イベントの開催方法や助成金申請、NPO 法人の設立、組織運営、団体間のコーディネート、外国人支援、居場所づくりなど多岐にわたる相談を受け付け、課題を整理し必要な支援を行った。

課 題：経験の浅いスタッフの知識の習得や、対応ケースに関する情報共有やスキルアップを更に図っていく。

<相談件数>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	12	14	11	15	11	13	12	7	3	11	3	11	123

(2) 情報収集

内 容：地縁団体や市民活動団体に対して来館時やアウトリーチ、SNS などによる団体情報の収集に努めるとともに各種メルマガや Web サイトにより市民活動団体が活用できる助成金情報を収集した。

日 時：随時

対象者：地縁団体、市民活動団体

成 果：利用者への声かけや団体の活動場所へアウトリーチ、管理する SNS に高評価など反応いただいた団体などの投稿調査などを通じて市民活動団体とその活動情報やニーズを得られた。

自治会からの相談ニーズを踏まえて近接する 3 つの自治会のミニ交流会を実

施し、工夫や課題の共有、3自治会の情報交流の土壌づくりに寄与し、継続的な実施要望を受けた。

また、しみかつサポーター制度を稼働させるために利用者の声を聞く場を設けた。

課題：団体情報収集にもなっていた池田市の登録団体制度がなくなり、これに代わる効果的・効率的な情報収集のしくみづくりの検討や情報収集を行うための人員体制の整備が必要である。

<新規に情報収集した団体>

団体名	活動内容
未来を真守る en	現役消防士、救急救命士として培った知識を市民に対し啓発を行う講習会などを開催。
ふたばシフォン	子どもの成長記録と一緒に作成するイベントを定期開催。
Do-Planning Club	池田 Wombat Cup 市長杯や車椅子テニス大会を開催。
きょうされん	障がいのある人たちの就労系事業、グループホーム、相談事業など生きることに必要な事業を実施。
梅ヶ丘自治会	梅ヶ丘地域における住民による自治活動。
くれは地域コミュニティ推進協議会	呉服会館で年に1回、こども服のお下がり交換会などを実施。
ルリアン	池田市内での清掃活動。
秦野小学校 150 周年記念祭 実行委員会	秦野小学校 150 周年記念祭の開催に向け企画や準備を実施。
なるには学問堂	子どもの才能を引き出す学童保育施設。
オータムフェスタ	キセラ川西せせらぎ公園でのイベント開催。
豊中池田おやこ劇場	生の舞台作品の鑑賞を通して子どもの想像力を育て、遊びやキャンプなどの自主活動で実際に体験することで協調性や信頼しあう心を育てる。
男・珈琲倶楽部	yobou いけだのコーヒー教室の卒業生によるイベント開催サポート。
子育て支援拠点「てしまの森」	子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点
池メン健康料理教室	保健所と葉菜の会の呼びかけで男性料理教室。
誠空会	空手教室。
学び屋トコトコ	子どもを対象に工作や茶道など体験活動を実施。
大阪大学アイスホッケー部	大学でのアイスホッケー活動と地域社会貢献活動を実施。

(3) 情報発信

内 容：交流センターHP や Facebook ページ、情報誌「しみかつ」、にて利用方法や交流センター主催イベントの開催告知や報告、市民活動団体の活動の様子を紹介した。センターメールマガジンではメールマガジン登録者に対し、市民団体等のイベント情報、助成金情報等を発信している。当会フェイスブックページやインスタグラムにおいても交流センターのイベント開催情報、団体支援情報等を発信した。

日 時：随時(メールマガジンは概ね月 1 回)

対象者：一般市民、市民活動団体、地縁団体、行政職員ほか

成 果：情報誌を 8 月(4,300 部)、10 月(4,000 部)、3 月(4,000 部)に発行し、配布先の見直しも行いながら市内関係箇所へ配布した。交流センターHP から情報誌の内容を閲覧できるようにして市民への更なる周知に努めた。Facebook など SNS の活用により即時性の高い情報提供が行えた。相談に来られた方や講座の申込者などに積極的にメールマガジンの登録を勧め登録者を増やすことができた。(3 月末時点で 274 アドレス登録)

課 題：随時配信のメールマガジンに関しては、繁忙により発信頻度がさがった。発信可能な人材の育成、配信メディアや制作方法の見直しを検討する。

(4) 人材育成(別紙参照)

① 市民活動講座

内 容：市民活動の継続発展に必要な知識や技術を学ぶ講座を開催した。

場 所：市民活動交流センター

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：定例相談会「つながる会」や日常の相談業務の中で多く寄せられた「助成金」「広報」をテーマとした講座を開催した。

「助成金講座」では、日頃の準備や申請時の注意点を伝えた。春と秋に多く募集されるため、そのタイミングで開催した。今年度は、池田市公益活動助成金の申請書を用い、どのようなことを記載したいかを考えるワークを実施し、より具体的な申請のイメージを持ってもらうことが出来た。

「広報講座」では、活動の告知や連絡などに活用されている公式 LINE をテーマに相談会を実施。SNS の使い分けによる広報の工夫や、公私の切り分けといった運用の工夫を共有した。導入の難しさや若手不足などの悩みも出たが、参加者同士で機能を教え合うなどして、互いの活動を知る交流の場となった。

講座全体を通じて、各講座内で参加者間の交流の時間を設けたことで、交流が活発化し、活動への意欲向上にもつながった。

課 題：「助成金講座」では、初めて申請書に触れる方には記入が難しいと思われ、例を示すなど工夫を検討する。

「広報講座」では、情報発信を積極的に行う地縁団体に参加を呼びかけたが参加にはいたらなかったため当事者意識を持って参加いただけるよう呼びかけ方を検討する。

<実施講座>

実施日時	テーマ	講師・ゲスト	参加者
8/30(土) 10:00～ 12:00	もう怖くない！ 助成金申請講座	谷田 成司 (交流センター)	6 名
2/21(土) 10:00～ 12:00	あつまれ！ 広報お悩み持ち寄り相談会 ～公式 LINE 編～	宇都宮 幸 (ほそごう地域コミュニティ推進協議会) 有元 彩子 (やってるで食堂)	10 名

(5) コーディネーション・交流

① つながる会

内 容：池田で活動しているこれから活動を始めたい方、活動情報が知りたい方、他団体と繋がりたい団体、運営に悩む団体など、どなたでも参加いただける情報交換会を開催し、必要に応じて応談、情報提供を行った。

場 所：市民活動交流センター

日 時：年 4 回実施 10:00～11:30

6/7(土) 2 名、9/27(土) 1 名、12/3(水) 2 名、3/5(木) 4 名

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：現役の活動団体から活動検討者、活動してみたい方など多様で幅広い層に参加いただき、広報や地域連携における共通の悩み、さらには活動に対する想いを共有する有意義な場となった。つながりを求めて継続的に参加する方もあるほか、自ら情報提供や活動場所の仲介役を担うなど、市民活動を支える側へと発展する動きが見られた。

課 題：少人数制の交流会ではあるものの、申込者の欠席もあり回によっては 1～2 名と意見交換を行うには人数が少ない場面も見受けられた。今後は 3 年間の実績を基に効果的な PR 手法を検討し、集客の安定化を図りたい。また公益活動への認知をさらに広め、活動の担い手を継続的に育成・輩出できる場となるよう内容の充実に努めたい。

② みんなで作業の会

内 容：公益活動を行う団体や個人に対し、総会資料などの書類作成に関する気軽に相談できる機会を提供すると共に、他の団体との交流を通じて相互に学び合う環境を提供する。

場 所：市民活動交流センター

日 時：7/3(木) 10:00～12:00/13:00～15:00

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

参加者：0 名

成 果：活動において書類作成や広報作業などデスクワークは多岐にわたるが、多忙の中、活動者毎に作業のタイミングが異なること、資料を持参するのが大変なことなどから、日時を合わせて一緒に作業をするということについてのニーズは高くないかもしれないことが分かった。

課 題：テーマを絞って交流型作業会にする、どのような場であるかが明確に分かるような告知をするなど工夫すれば開催ニーズがあるのか検討する。

③ 市民活動交流センターGet together2026(別紙参照)

内 容：市民と市民活動団体、地域団体との交流や新規メンバーの獲得、団体間の連携強化、センターの認知度向上などを目的として全館を使用したステージ発表、体験、ワークショップ、作品展示を開催した。実行委員会形式で開催し、企画段階から市民団体に参加いただいた。団体間の関心向上のための事前交流会、商店街と連携したパレード、スタンプラリーも実施した。

場 所：市民活動交流センター

日 時：2026 年 3 月 14 日(土)10:00～16:00

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

参加者：来場者約 400 名

(入口カウント数 598－パレード参加者 165－関係者)

参加団体数：ステージ発表 19、ワークショップ 7、作品展示 4、パレード 10

成 果：今回の実行委員会ではイベント分野の有識者を招いた勉強会を実施し委員の企画への主体的な関わりにつながった。委員の提案でイベントの特設サイトを作成でき広報力が高まった。出展・出演者同士の関心を高めるため事前交流会を開催したことで当日のコラボに繋がった。来館者は各団体のブースなどまんべんなく回っていただけた。パレードやスタンプラリーを開催したことで商店街との連携が深まり双方にとってのイベント PR につながった。今回も出展・出演者、来場者ともに満足度が高かった。

課 題：ステージ出演の人数が多い団体の控室の使用方法や導線管理に課題が残った。パレードは警備面で不安があったため次回は警備の人員の増員が必要である。来場者の来館動機として口コミが多いため、その他の広報手段の工夫が必要。

④ 市民企画講座

内 容：市民活動や市民活動団体の実際の様子を市民に紹介し、理解と関心を高める。

市民活動への参加者・協力者・担い手の拡大を促す。

場 所：市民活動交流センター

対象者：市民活動団体、地縁団体、一般市民ほか

成 果：地域で活動する実践者をゲストとして招き、講話・体験・対話を組み合わせた全3回の講座を実施した。モルック体験や拠点見学、当事者家族による体験談等を通じ、参加者の「居場所づくり」に対する理解と共感の醸成を図るとともに、市民活動への参加意識の向上につなげた。参加者には複数回受講するリピーターも見られ、本講座は継続的な学びの場としても機能した。例えば、講座内では既存団体間における新たな連携の検討が行われたほか、参加者がゲストの定期活動に友人とともに参加するなど、知識習得にとどまらない具体的な行動変容やネットワークの拡大が確認された。アンケート結果においても高い満足度が得られており、市民活動の活性化に寄与した。

また、活動開始間もないゲストについては、公の場での講話が初めてで不安を抱えていたため、丁寧なヒアリングを通じて活動内容の言語化を支援した。その結果、IWN（池田市女性人材育成事業）受賞に向けた自己分析の深化の一助となった。

課 題：市民活動に関心を有しながらも未経験である層への働きかけが十分とはいえず、広報および企画の工夫が課題となっている。このため、「市民活動」の普及とその社会的意義について広く発信し、未経験層が参画への第一歩を踏み出せるよう周知の強化を図る。あわせて、講座で喚起された関心を一過性のものとせず、「しみかつサポーター」への登録や「Get together ボランティア」への参加等、関心の度合いに応じて他事業と連携した段階的な参画支援へとつなげていく。

<実施講座>

実施日時	テーマ	講師	参加者
11/29(土) 10:00～ 12:00	やってみよう！見つけよう！わたしの『市民活動』～モルック編～	古川 香穂里さん (池田モルックの会)	9 名
12/21(日) 10:00～ 13:00	やってみよう！見つけよう！わたしの『市民活動』～共育編～	小石 剛さん (コミュニティカフェ Ohana)	11 名
1/25(日) 13:00～ 15:00	やってみよう！見つけよう！わたしの『市民活動』～不登校編～	真野 潤子さん (Nekko to Ohana)	20 名

3. スタッフ研修

北摂ともにプロジェクトにおける研修

内 容：北摂 7 市 1 町の市民活動センター運営団体等による「北摂ともにプロジェクト」(2025 年度は内閣府の令和 7 年度孤独・孤立対策担い手育成支援事業「孤独・孤立対策の担い手となりうる多様な小規模 NPO の活動基盤整備事業」)に参画し 2 つの市民活動団体への伴走支援や小規模 NPO の実態調査、講座企画などを通じたスタッフ研修を行った。

場 所：市民活動交流センター、大阪府下、関西支援センター、オンラインほか

実施日：2025 年 8 月～2026 年 3 月

対象者：センター勤務スタッフ、市民活動団体ほか

成 果：北摂 7 市 1 町が連携した市民活動団体への伴走支援を通じた実践的なスタッフ研修、小規模 NPO のつながりづくりの実態調査を行うヒアリング、分野や専門性を超えた支援組織ネットワーク形成を行う講座への企画参加により中間支援の専門性を高めた。また、池田市内の団体へアウトリーチし団体の情報収集に努めた。

課 題：研修目的で参加した非常勤職員が退職することになった。専門性をもった職員の育成と、その安定的な雇用には、相応の待遇で常勤雇用できる環境整備が必要である。

4. 調査研究

① 子ども食堂プラットフォーム

内 容：子ども食堂や池田市におけるニーズを把握し、そのニーズを踏まえてプラットフォームづくりなど子ども食堂同士が協力し合える環境づくりを支援する。

場 所：市民活動交流センター

日 時：9/20 日(土) 15 名、1/24(土) 13 名

対象者：こども食堂の実施者、地域食堂の実施者、立ち上げに関心のある方

成 果：参加者満足度は高く、運営者同士の知識やノウハウの共有、活動意欲向上につながった。協力して出来る取り組みについてもアイデアが出された。ニーズについても一定、把握ができ、特に情報交換など交流に関するニーズは高く、情報交換のプラットフォームとして交流会の場で LINE のオープンチャットグループが作成された。

課 題：今後の交流会の開催やチャットの管理、運用ルールについて主体的に検討いただくこと、協働事業の実施、行政への合同提案に向けた支援など必要に応じて行っていく。

② 社会的処方研究

内 容：社会的処方(薬を処方することで患者の問題を解決するのではなく地域とのつながりを処方することにより解決すること)におけるリンクワーカー(患者と地域資源をつなぐ人材)の役割をセンターが担うことにより、市民活動への参加のチャンネルを 1 つ増やすことが出来るか調査する。

場 所：池田市内ほか

対象者：孤立・孤独に関わる活動者、医師会、医師など

成 果：孤立・孤独に関わる活動者へのヒアリングを通じて、活動状況や周辺地域における社会的処方についての方向性について教授いただいた。

課 題：今後は医師会へのヒアリングなどを通じて、医師会および医師の社会的処方に関する認知度や関心について調査するなど、医療関係者との連携可能性を模索する。

③ しみかつサポーター

内 容：しみかつサポーター制度稼働に向けて、利用者より直接意見を聞くミニワークショップを実施。

場 所：市民活動交流センター 2階フリースペース

日 時：12/25 (木)、26 (金) 14 名

対象者：2F フリースペースとキッズスペースの利用者

成 果：「貸室利用時に他の団体も清掃できているか気になる」「自転車置き場に広い屋根がほしい」といった、利用報告書にはなかった回答があった。

課 題：ワークショップではサポーター参加への声掛けには至らなかったため、気軽にしみかつサポーターに参加してもらえるよう制度の周知方法を検討する。またサポーターへの情報伝達方法、サポーターに依頼する内容の整理も行っていく。

2022年度 池田市立市民活動交流センター指定管理 決算書

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
指定管理料	18,300,000	10ヶ月分
当期収入合計	18,300,000	

支出の部

金額は税込み (単位：円)

科目	決算額	備 考
(人件費)		
給料 手当	14,639,166	
法定福利費	1,252,020	社会保険料、労働保険料
(人件費) 合計	15,891,186	
(事業費)		
業務委託費	323,766	専門員業務費用 〇〇さん…319,274円 税理士事務所…4,492円 ※税理士事務所の給与・税金計算は法人の人件費(管理費)に含む
諸 謝 金	9,500	ミニサロン
印刷製本費	266,884	
会 議 費	27,657	
旅費交通費	40,640	
通信運搬費	133,813	電話、インターネット関係、ガソリン代
消耗品 費	243,974	トイレトペーパー、消毒液、ウォーターサーバーなど 他
減価償却費	111,333	2022年購入PC1台334,000円の減価償却費
リース料	245,348	コピー機
保 險 料	17,100	市加入保険の対象外保険(施設賠償、火災、業務災害)
雑 費	4,670	池田市クリーンセンター 不燃ごみ処理代 600円 給与・支払い費用の振り込み手数料 770円 ウォロ購読料 3300円
(事業費) 合計	1,424,685	
合計	17,315,871	
収支差額	984,129	※2024年度より消費税100万円相当が必要

2023年度 池田市立市民活動交流センター指定管理 決算書

(単位：円)

収入の部 (単位：円)

科 目	決算額	備 考
指定管理料	21,960,000	
当期収入合計	21,960,000	

支出の部 金額は税込み (単位：円)

勘定科目	決算額	備 考
人件費（給料手当等）	15,845,461	
社会保険料	1,615,991	社会保険料、労働保険料
法人税	410,923	
業務委託料	730,969	株式会社LITさん… センターHP制作、しみかつ会議・取材・撮影、イベントGTのぼり・ チラシ作成 342,767円 サーバメンテナンス ■さん…20,000円 株式会社バードデザインさん… しみかつ企画、創刊号デザイン 353,500円 専門員業務費用 ■さん…14,702円 ※税理士事務所の給与・税金計算は法人の人件費（管理費）に含む
諸謝金	43,620	講師料（源泉込み）
印刷製本費	98,912	情報誌印刷費 他
通信運搬費	114,374	インターネット関係、情報誌後納郵便
リース料	326,040	コピー機
消耗品費	483,595	事務用品、清掃用品、トイレットペーパー、ウォーターサーバー 他
保険料	17,240	市加入保険の対象外保険(施設賠償、火災、業務災害)
研修費	12,980	防火防災管理講習他
減価償却費	481,263	2022年購入PCの減価償却費 111,333円 2023年サーバ購入 173,800円 2023年PC1台購入 196,130円 ※サーバとPC1台は、20万円未満のため少額減価償却資産として計上 (1年で全額償却)
当期支出合計	20,181,368	
収支差額	1,778,632	※2024年度より消費税100万円相当が必要

2024年度 池田市立市民活動交流センター指定管理 決算書

収入の部		(単位：円)
科 目	決算額	備 考
指定管理料	21,960,000	
当期収入合計	21,960,000	
支出の部		金額は税込み (単位：円)
科 目	決算額	備 考
人件費	16,170,477	給与（通勤交通費含む）、福利厚生費 (2025年3月末時点 常勤2名、パート11名勤務)
法定福利費	1,500,421	社会保険料、労働保険料
租税公課	1,030,500	消費税
業務委託費	1,407,115	株式会社LITさん… センターHP管理、しみかつ会議・取材・撮影、イベントGTチラシ作成 220,895円 サーバメンテナンス さん…20,000円 株式会社バードデザインさん… しみかつデザイン 649,500円 名刺デザイン・印刷（スタッフ5名分）60,720円 税理士事務所…給与・税金計算 456,000円
諸謝金	44,483	講座の謝金・講師料
印刷製本費	252,021	情報誌印刷費 240,108円 イベントチラシ印刷費 11,913円
通信運搬費	273,729	インターネット費用・センターHP管理料・ネットバンキング手数料・zoom利用料 162,421円 情報誌郵送料 111,308円
賃借料	326,040	複合機リース料
消耗品費	519,227	事務用品・清掃用品・トイレットペーパー・コピー機インク代 379,639円 ウォーターサーバー 139,588円
保険料	17,240	市加入保険の対象外保険料（施設賠償、火災、業務火災）
研修費	7,700	講座代、書籍代など
旅費交通費	4,190	情報誌取材時の交通費など
減価償却費	55,667	2022年購入PCの減価償却費
雑費	1,500	利用者に貸室利用料を誤った金額で案内した差額
当期支出合計	21,610,310	
当期収支差額	349,690	

2025年度 池田市立市民活動交流センター指定管理 決算書

収入の部

(単位：円)

科 目	決算額	備 考
指定管理料	21,960,000	
当期収入合計	21,960,000	

支出の部

金額は税込み (単位：円)

科 目	決算額	備 考
人件費	17,467,155	給与（通勤交通費含む）、福利厚生費 (2026年3月末時点 常勤2名、パート12名勤務)
法定福利費	1,363,725	社会保険料、労働保険料
租税公課	1,025,900	消費税、イベント時の道路使用許可料(印紙代)
業務委託費	1,277,853	株式会社LITさん… センターHP管理、しみかつ会議・取材・撮影、イベントGTチラシ作成 155,753円 株式会社バードデザインさん… しみかつデザイン 649,500円 名刺デザイン・印刷（スタッフ1名分） 6,600円 税理士事務所… 給与・税金計算 466,000円
諸謝金	40,226	講座の謝金・講師料
印刷製本費	244,777	情報誌印刷費 232,584円 イベントチラシ印刷費 12,193円
通信運搬費	248,976	インターネット費用・センターHP管理料・ネットバンキング手数料・zoom利用料 135,810円 情報誌郵送料 113,166円
賃借料	326,040	複合機リース料
消耗品費	553,773	事務用品・清掃用品・トイレットペーパー・コピー機インク代 381,781円 ウォーターサーバー 171,992円
保険料	20,820	市加入保険の対象外保険料（施設賠償、火災、業務火災）
研修費	10,600	講座代、書籍代など
旅費交通費	860	研修参加時や情報誌取材時の交通費など
減価償却費	55,666	2022年購入PCの減価償却費（償却終了）
雑費	5,605	イベントGT実施時に元スタッフが単発で勤務した費用
当期支出合計	22,641,976	
当期収支差額	-681,976	